平成16年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2004

平成16年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2004

目次

凡例

1 本冊子は福岡市美術館の平成16年4月1日から平成17年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.16は平成16年の略字である。

2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。

3 主催展覧会の観覧者数の明細は「展覧会観覧者数」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

4 「収集活動」の「美術資料」は平成16年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法（法量）は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3（イメージサイズ）で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1	郷土作家（注1）	A	油彩等（注2）	
2	日本作家	B	日本画等（注3）	
3	海外作家	C	水彩等（注4）	
4	黒田資料	D	素描	
5	東光院仏教美術資料	E	版画	
6	松永コレクション	F	写真	
7	太田コレクション	G	彫刻等（注5）	
8	石村コレクション	Ha~Hf	工芸（注6）	作品番号
11	森山コレクション	I	書跡	
12	三宅コレクション	J	文書	
13	山崎朝雲資料	K	その他	
14	一般古美術資料			
15	研究資料			
16	西本コレクション			
17	本多コレクション			
18	クスマコレクション			
19	藤森静雄資料			

注
1.九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2.A（油彩等）の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3.B（日本画等）の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4.C（水彩等）の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5.G（彫刻等）の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6.H（工芸）は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

なお作品名の[　]は当館で作成した仮題である。

美術館日誌

平成16年

4月10日（土） 大英博物館の至宝展開催（6月13日まで）、同展開会式
7月 1日（木） 夏期の開館時間延長を開始（8月31日まで）
7月15日（木） 平成16年度 第1回美術館協議会
7月21日（水） 古美術企画展「平賀源内のまなざし　源内焼」開催（10月17日まで）
7月23日（金） 「将軍－徳川家十五代展」開催（9月5日まで）、同展開会式
7月23日（金） 中学校交流ワークショップ
「中学生（美術部）の交流を通してワークショップをつくろう！」
7月27日（火） 平成15年度美術資料寄贈者への感謝状贈呈式
7月28日（水） 夏休みこども美術館2004「美術館探検」
（7月28日、8月4日、8月11日、8月18日、8月25日の全5回）
8月 7日（土） 夏休みこども美術館2004　こどもワークショップ
「みんなでお茶会」（8月7日、8月21日の全2回）
8月20日（金） 美術資料収集審査会（古美術）


▲平成15年度美術資料寄贈者への感謝状贈呈式

9月18日（土） 2004年　福岡市・北九州市連携事業　芸術・文化交流企画
アートな遠足～福岡市美術館と北九州市立美術館を結ぶ～「秋の自然と美術館ツアー」
9月19日（日） アートな遠足「こだわりの建築と芸術ツアー」
9月20日（月） アートな遠足「あなたが語る作品ツアー」
9月27日（月） ルーヴル美術館展開会式
9月28日（火） ルーヴル美術館展開催（11月28日まで）
10月 9日（土） 第7回所蔵品によるアートセミナー「20世紀前半の前衛写真：モホリ＝ナギの視覚」（10月10日まで）
11月 3日（水） 開館記念日につき常設展観覧料を無料とした
11月21日（日） 第25回開館記念講演会「描かれた都市－京都・パリ・ヴェネチアー」開催
11月27日（土） 美術資料収集審査会（近現代美術）
12月 2日（木） 平成16年度第2回美術館協議会
12月24日（金） 仕事納め

平成17年

1月 4日（火） 仕事始め
1月 5日（水） 近現代美術企画展
「第6回21世紀の作家－福岡　藤浩志展」開催（4月3日まで）
2月25日（金） 「第39回福岡市美術展」入賞・入選者発表
3月 8日（水） 「第39回福岡市美術展」開催
（3月21日まで・福岡県西方沖地震のため20、21日は臨時休館）
3月13日（日） 「第39回福岡市美術展」表彰式
3月26日（土） つくって！わかる？アート講座vol.1「インスタレーション」って何？
～見慣れた場所を変化させる技～（3月27日まで）

▲第39回福岡市美術展表彰式

特別展等

創立250周年記念
大英博物館の至宝展
世界一周1万年の旅

会期：平成16年4月10日（土）－6月13日（日）
会場：特別展示室A

▲ポスターB2

▲会場風景

内　容

「世界の文化がひとつ屋根の下に集う殿堂」といわれる大英博物館が、創立250周年を記念して海外に送りだす唯一のプロジェクトで、700万点を超す収蔵品から選ばれた230件を「大英博物館の250年」、「古代オリエント世界」、「ヨーロッパ」、「アフリカ・アメリカ・オセアニア」、「アジア」の5セクションに分けて展示。世界をパノラマのように一望し、一万年にわたる人類の記憶を追体験できるような構成であった。

出品点数　230件

関連事業

▶記念講演会

「大英博物館の歴史」
日　　時：平成16年4月10日（土）　午後2時～3時30分
講　　師：ティモシー・クラーク氏（大英博物館日本担当部長）
会　　場：講堂
聴講者数：200人

「大英博物館の魅力」
日　　時：平成16年5月15日（土）　午後2時～3時30分
講　　師：菊竹淳一氏（九州産業大学教授・九州大学名誉教授）
会　　場：講堂
聴講者数：175人

主催等

主　　催：福岡市美術館／大英博物館／朝日新聞社／九州朝日放送
後　　援：外務省／英国大使館／ブリティッシュ・カウンシル／（財）福岡市文化芸術振興財団／山口朝日放送／長崎文化放送／熊本朝日放送／大分朝日放送／鹿児島放送／琉球朝日放送／テレビ宮崎／にしてつグループ
特別協賛：日動火災海上保険株式会社
協　　賛：昭和シェル石油/日本製紙株式会社/DNP大日本印刷/JR九州
特別協力：福岡市交通局
協　　力：ANA／NCA／西鉄旅行

観覧料

一般・・・1,300円（1,100円）
高・大生・・・900円（700円）
小・中生・・・400円（200円）

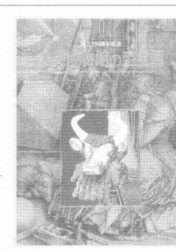
（ ）内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者の料金。

開催日数　56日

観覧者数　301,269人

印刷物

ポスター（B1・B2・B3）
チラシ（A4）
図録（A4変形・257頁）



▲図録

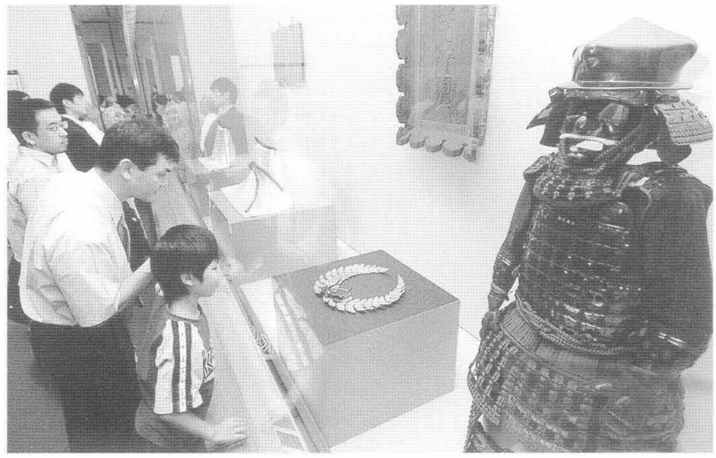
関連記事

p.15を参照。

将軍ー徳川家十五代展
サムライたちの頂点ー家康から慶喜への軌跡

会期：平成16年7月23日（金）ー9月5日（日）
会場：特別展示室A

▲ポスターB2


▲会場風景

内容

江戸に幕府が開かれて400年の時を経た。二世紀半に及ぶ泰平の世を築いた徳川時代。近年その意義が問い直され、再評価がなされている。しかしその中にあって、十五代の将軍たちの実像は意外に知られていない。本展では、幻の将軍といわれる十代世嗣・家基を含む、家康から慶喜までの肖像画および自筆書画や遺愛品などで、将軍たちの実像を浮き彫りにすることを試みた。徳川記念財団所蔵の宗家伝来の品々を中心とする192点を展観。

出品点数

192点

関連事業

▶講演会

「江戸時代250年余の天下泰平と現代」

日　　時：平成16年7月24日（土）　午後2時～4時
講　　師：徳川恒孝氏（徳川記念財団理事長・徳川宗家第十八代当主）
会　　場：講堂、教養講座室
聴講者数：316人

「徳川家婚姻政策」

日　　時：平成16年8月7日（土）　午後2時～4時
講　　師：山本博文氏（東京大学史料編纂所教授）
会　　場：講堂
聴講者数：230人

主催等

主　　催：福岡市美術館／読売新聞西部本社／FBS福岡放送
特別協力：（財）徳川記念財団
後　　援：福岡県教育委員会／（財）福岡市文化芸術振興財団／NIB長崎国際テレビ／KKTくまもと県民テレビ／TOSテレビ大分／KYT鹿児島読売テレビ／KRY山口放送／JR九州／西日本鉄道
特別協賛：都築総合学園
協　　賛：積水ハウス／博多大丸

観覧料

一般・・・1,100円（900円）
高・大生・・・700円（500円）
中学生以下無料

（　）内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者の料金。

開催日数

39日

観覧者数

54,045人

印刷物

ポスター（B2・B3）
チラシ（A4）
図録（A4変形・161頁）

▲図録

関連記事

p16を参照。

ルーヴル美術館展
－中世フランスの秘宝－

会期：平成16年9月28日（火）－11月28日（日）
会場：特別展示室A

▲ポスターB2


▲会場風景

内　容

世界に名高いパリのルーヴル美術館の所蔵品は30万点を超えるとされるが、とりわけ、彫刻部門と工芸部門の中世フランス美術コレクションはもっとも美しいものの一つといわれる。
本格的中世フランス美術展としては、日本でほぼ30年ぶりとなる待望の本展では、この２部門のコレクションから精選した中世フランスの美術品109点を一堂に公開し、11世紀から16世紀初頭のキリスト教を中心とした芸術のもつ豊かな魅力を紹介した。

出品点数　109点

関連事業

▶記念講演会
「中世フランスの彫刻－ルーヴル美術館のコレクションをめぐって」
日　　時：平成16年９月28日（火）　午後2時～3時30分
講　　師：ジャン＝ルネ・ガボリ氏（ルーヴル美術館彫刻部長・本展監修）
会　　場：講堂
聴講者数：183人

▶記念セミナー
「中世フランス美術の魅力とその見方－ロマネスクからゴシックへ」
日　　時：平成16年10月23日（土）　午後2時～4時
講　　師：馬杉宗夫氏（武蔵野美術大学教授・本展日本側監修）
会　　場：講堂
聴講者数：224人

主催等

主　　催：ルーヴル美術館／福岡市美術館／読売新聞西部本社／FBS福岡放送
後　　援：フランス大使館／福岡県教育委員会／（財）福岡市文化芸術振興財団／NIB長崎国際テレビ／KKTくまもと県民テレビ／TOSテレビ大分／KYT鹿児島読売テレビ／KRY山口放送／JR九州／西日本鉄道
特別協賛：都築総合学園
協　　賛：ふくや／九州電力／積水ハウス／博多大丸
助　　成：福岡文化財団
協　　力：日本航空／西鉄旅行／九州日仏学館

観覧料

一般・・・1,300円（1,100円）
高・大生・・・900円（700円）
小・中生・・・400円（200円）

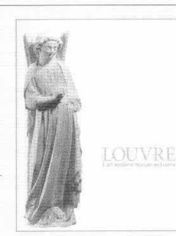
（　）内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者の料金。

開催日数　54日

観覧者数　82,425人

印刷物

ポスター（B1・B2・B3）
チラシ（A4・2種）
図録（A4変形・186頁）



▲図録

関連記事

p.16を参照。

第39回福岡市美術展

会期：平成17年3月8日（火）－3月21日（月・休）
（地震のため3月20日、21日は臨時休館）
前　期：洋画・彫刻・工芸 3月8日（火）－3月13日（日）
後　期：日本画・書・写真・デザイン 3月15日（火）－3月21日（月・休）
会場：特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D

▲ポスターB2


▲ギャラリートークの様子

内　容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に、毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1,284人（1,517点）の応募があり、内751人（753点）が入選・入賞した。また、第38回展の日仏姉妹都市賞受賞者を姉妹都市ボルドー市へ派遣した。

出品点数

790点（審査員・招待出品を含む）

関連事業

▶入賞・入選発表

期　　日：平成17年2月25日（金）

▶表彰式

期　　日：平成17年3月13日（日）
会　　場：講堂
各　　賞：福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点、福岡市教育委員会賞・福岡県美術協会賞・福岡文化連盟賞・福岡市文化芸術振興財団賞・九州日仏学館賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、奨励賞47点。

▶ギャラリートーク

前　　期：平成17年3月13日（日）
後　　期：平成17年3月21日（月・休）を予定していたが、地震のため中止

主催等

主　　催：福岡市／福岡市教育委員会／福岡市美術展運営委員会
後　　援：九州日仏学館／福岡県教育委員会／（社）福岡県美術協会／福岡文化連盟／（財）福岡市文化芸術振興財団／西日本新聞社／福岡市姉妹都市委員会

観覧料

一般・・・300円　高・大生・・・200円　小・中生無料
障害者手帳所持者は無料

開催日数

11日

観覧者数

5,444人

印刷物

ポスター（B2・2種）
開催要項（A3二つ折）
図録（A4変形・49頁）

▲図録

関連記事

p.17を参照。

出品・入賞入選状況

部門	出品合計（応募） 人員（人）	点数（点）	展示 入賞・入選 人員（人）	点数（点）	招待（人・点）	展示点数（点）
日本画	53	57	33	33	5	38
洋画	289	360	218	218	5	223
彫刻	24	25	19	19	4	23
工芸	116	138	57	57	5	62
書	270	279	170	170	6	176
写真	367	483	188	188	6	194
デザイン	165	175	66	68	6	74
合計	1,284	1,517	751	753	37	790
第38回	1,424	1,691	815	719	35	854

注）招待点数は審査員出品を含む。

常設展

■近現代美術

近現代美術室

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、20世紀に登場した様々な美術動向を代表する国内外の作品を、時代別、傾向別にわかりやすく展示。

第I期：平成16年9月8日（火）－平成17年2月20日（日）

1章：ラファエル・コランと近代日本の洋画（黒田清輝ほか）、2章：20世紀前半の具象絵画（ユトリロほか）、3章：シュールレアリスム（ダリ、ミロほか）、4章：様々な抽象（ステラほか）、5章：反芸術とポップアート（ウォーホルほか）、6章：もの派とその影響（戸谷成雄ほか）

第II期：平成17年2月22日（火）－平成17年8月21日（日）

1章から5章までは第I期と同様。6章：光と闇－1980年代以降の絵画と彫刻（松尾藤代ほか）

日本画工芸室

冨田溪仙展
会期：平成16年4月6日（火）－5月30日（日）

京都を拠点として制作し、大正期から昭和のはじめに院展や文展で活躍した博多出身の日本画家、冨田溪仙（1879-1936）。春の展示に恒例の《御室の桜》や《筑紫八景》など、彼の自由な表現を伝える作品14点を所蔵品から選りすぐって紹介した。

水上泰生展
会期：平成16年6月1日（火）－7月19日（月・祝）

福岡市出身の水上泰生（1882-1951）は、東京美術学校で日本画を学ぶ傍ら寺崎広業に師事。大正期以降は官展を中心に活躍し、特に花鳥画を得意とした。新収蔵の帝展出品作《梅雨あけの頃》など8点を展示し、華麗な作風を紹介した。

郷土の日本画家たち
会期：平成16年7月21日（水）－8月29日（日）

阿部春峰（1887-1956）、今中素友(1886-1959)、松尾晃華(1893-1983)、吉本尚二(1916-79)ら、郷土出身の日本画家の作品11点を展示。

詩書画の一致
会期：平成16年8月31日（火）－10月24日（日）

幕末から近代における大分や福岡の南画家や書家の作品により、中国の文人が理想とした詩書画の一致の境地を求めた彼らの活動を紹介。作品は帆足杏雨、僧雲華、平野五岳、田能村直入、長三州、吉嗣拝山、藤瀬冠邨など18点を展示。

図版：帆足杏雨筆 泛舟図（部分） 1835年

日本美術院の画家たち
会期：平成16年10月26日（火）－12月26日（日）

東京美術学校を辞職した岡倉天心が横山大観らと日本画の革新を目指して明治31（1898）年に結成した日本美術院。そこに集い明治、大正、昭和、の日本画を彩った俊英たちの当館所蔵品11点を展示。

図版：冨田溪仙《嵐峡晴雨図》（部分） 1924年

吉村忠夫展
会期：平成17年1月5日（水）－2月20日（日）

吉村忠夫（1896-1952）は、東京美術学校で日本画を学び、後に松岡映丘に師事。特に万葉時代や平安時代に対する深い歴史研究に基づき、大和絵の伝統を生かした歴史風俗画を得意とした。その作品10点を展示。

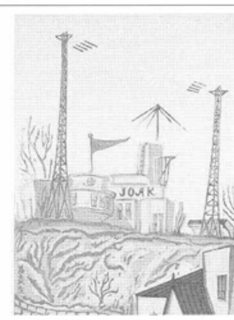
小早川清展
会期：平成17年2月22日（火）－4月3日（日）

博多出身の日本画家、小早川清（1899－1948）は、大正から昭和にかけて帝展・日展で活躍した。第14回帝展で特選を受賞した《旗亭涼宵》をはじめ、艶麗な女性像を得意とした彼の日本画および版画26点を展示。

小作品室

昭和期の創作版画
会期：平成16年4月6日（火）－5月9日（日）

明治末期に始まった創作行為としての版画制作は、誰にでも実行できる身近な表現活動として人気を呼び、昭和初期には「版画誌」と総称されるオリジナル版画を製本した同人誌を舞台として全国的に広まった。創作版画のひろがりと魅力を伝える木版画や版画誌など27点を展示。



図版：藤森静雄《新東京百景 愛宕山放送局》
1929年

靉嘔の版画とオブジェ
会期：平成16年5月11日（火）－6月13日（日）

めくるめくばかりの七色の色彩で作品を彩る美術家、靉嘔（1931-　）。彼の作品がおりなす摩訶不思議なレインボー・ワールドを、福岡市美術館が所蔵する版画やオブジェ25点を通じて紹介した。

李禹煥とアニッシュ・カプーア
会期：平成16年6月15日（火）－7月19日（月・祝）

1936年韓国生まれの李禹煥（リ・ウファン）は、日本の「もの派」の理論家、中心作家として頭角を現し、西洋近代を批判的に捉えた独自の美意識を反映した作品で高く評価されている。一方1954年インドに生まれたアニッシュ・カプーアは、若くして英国に学び、モダニズムを消化したミニマルな造形に、母国の文化とのつながりを感じさせる深い瞑想性をたたえた作品で今や英国の代表的作家となっている。李の版画（西本コレクション）、カプーアの版画・素描17点を展示。

藤森静雄の挿絵と装丁
会期：平成16年7月21日（水）－8月29日（日）

久留米市生まれの版画家・藤森静雄（1891-1943）の木版による1930年代の新聞挿絵原画や、彼が装幀を手がけた本を紹介。葉書ほどの大きさの画面に刻まれた詩情あふれる作品63点を展示。

モホリ＝ナギの写真
会期：平成16年8月31日（火）－10月24日（日）

バウハウスで教鞭をとり、その後の美術に多大な影響を与えたハンガリー出身の美術家モホリ＝ナギ。その絶頂期ともいえる1920年代から30年代の写真作品21点を展示した。

阿部守展－ドローイングを中心に－
会期：平成16年10月26日（火）－12月26日（日）

福岡在住の現代美術作家、阿部守（1954-　）。鉄のインスタレーションで知られる作家だが、ドローイングなどの小品にも魅力的な作品を制作している。新収蔵品の中から阿部のドローイングやオブジェ類29点を展示し、この作家に新たな方向からのスポットをあてて紹介した。

黒崎彰展
会期：平成17年1月5日（水）－2月20日（日）

現代日本版画の代表的木版画家・黒崎彰（1937-　）は、旺盛な仕事量を誇る美術家である。近年、顔料の染めによる木版画以外の作品も手がけている。それらも含め、その多彩な活動を21点で紹介。

ディックスとシュミット＝ロットルフ
会期：平成17年2月22日（火）－4月3日（日）

表現主義運動の一翼を担ったカール・シュミット＝ロットルフ（1884-1976）の代表作的な作品集「9点組木版画集」は、原始美術に多大な影響を受けた傑作。一方、世界大戦の渦中で動乱するドイツ社会を鋭く見つめたオットー・ディックス（1891-1969）の版画集「死と復活」（6点組）は、その迫真的な描写が印象的で、両者とも私たちに強く訴えかける力強い作品である。両者の版画集とその題扉など含み16点を展示。

企画展示室

西本コレクション展（新寄贈品を中心に）
会期：平成16年4月6日（火）－5月30日（日）

1995年から３回にわたり1,148点もの作品をご寄贈いただいた和歌山市在住の蒐集家・西本宏氏より、昨年新たに435点の作品のご寄贈をお受けした。これを記念して、新収蔵品を中心に油彩、版画、彫刻など39点を展示。

彫刻ー朝雲からパイクまで
会期：平成16年6月1日（火）－7月19日（月・祝）

彫琢や塑造・鋳造の技術によってもっぱら表現されていた彫刻は、近現代美術のなかで絵画と同様に表現形態の拡大と伸展を図ってきた。もはや立体作品としか呼べないものまでを幅広く具象・抽象あわせて21点を展示。

郷土の洋画家たち
会期：平成16年7月21日（水）－8月29日（日）

地方公立美術館の役割の一つに郷土ゆかりの作家たちの紹介があるが、今回は、福岡市にゆかりの物故洋画家の昭和時代（1926-1989）の作品を中心に油彩画16点を展示。

吉田博と太平洋画会の画家たち
会期：平成16年8月31日（火）－10月24日（日）

優れた風景画家として知られる久留米市出身の吉田博（1876-1950）は、明治35年に仲間たちと美術団体・太平洋画会を結成し、黒田清輝らの白馬会と競いつつ、洋画界の発展に貢献した。近年再評価が進む太平洋画会の画家たちの油彩画、水彩画、彫刻あわせて31点を紹介。


図版：吉田 博《堀切寺》1907年頃

福岡の現代作家（収蔵品を中心に）
会期：平成16年10月26日（火）－12月26日（日）

時には力強くダイナミックに、時には緩やかに、しかし粘り強く展開する福岡の現代アートシーン。新収蔵品の中から福岡の今日のアートシーンの一面を切り取る5作家22点を展示。

■古美術

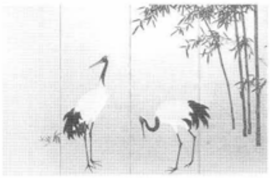
古美術企画展示室

九州の陶磁（コーナー展示）
前期：平成16年4月6日（火）－平成16年7月19日（月・祝）
後期：平成17年1月5日（水）－平成17年4月3日（日）

大陸文化との交流の拠点である九州は、日本の陶磁文化の生成においても極めて重要な役割を果たしてきた。当館所蔵の九州陶磁の名品を前・後期に分けて紹介。前期は唐津・高取・上野・薩摩などに代表される陶器17件を、後期は鍋島・柿右衛門・古伊万里といった磁器18件を展示した（後期は一部展示替あり）。

円山応挙と京都画壇
会期：平成16年4月6日（火）－5月30日（日）

千年の都・京都は、政治の中心が江戸に移った後も、学者・芸術家を輩出する文化都市として賑わい、多くの人の心を惹き付けてきた。「写生派の祖」円山応挙のほか、京都が輩出してきた画家たちの作品15点を紹介。


図版：円山応挙筆 竹鶴・若松図屏風（部分） 江戸時代

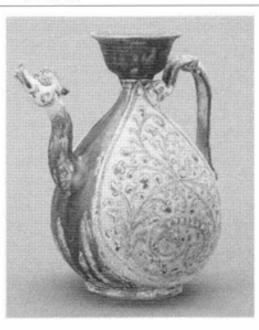
コプト裂とシルクロード文物
会期：平成16年6月1日（火）－7月19日（月・祝）

古代よりユーラシア大陸の様々な宗教文化の影響を受けながら、エジプトのナイル川流域で独自の発達をとげたコプト美術。その有り様を色濃くのこす当館所蔵のコプト裂31点に、同時代のシルクロード文物13点を併せて展示。


図版：赤地人物文綴織裂 中期コプト時代

本多コレクションによる「水の器－水注・水滴・瓶」
会期：平成16年10月19日（火）－11月21日（日）

東南アジアの陶磁コレクションとして知られる本多コレクションから、水や液体を容れた容器70点を選び出し、地域や時代、使用目的によりさまざまな姿形をとって作られる水注・水滴・瓶などの器を紹介。


図版：白褐釉刻花龍鳳凰文水注 15世紀 タイ

仙厓展－禅らしからぬ－
会期：平成16年11月23日（火・祝）－12月26日（日）

江戸時代、博多の禅宗の古刹聖福寺の住職であった仙厓(1750-1837)は、多くのすぐれた書画を書いた。その画風は仙厓の禅風をあらわすように、簡素で飄逸でありながら、人の心にふれるものである。仙厓の禅あるいは仏教的でない題材の書画33点を展示。

うるしの美
会期：平成17年1月5日（水）－2月20日（日）

アジアにおいて極めて永い歴史をもつ漆の文化は、各地の風土に応じた様々な「用の美」を生み出してきた。東アジアの漆文化の展開を一望できるよう、当館所蔵の中国・朝鮮・日本の漆工芸品30点を地域別に展示した。

文人の美術
会期：平成17年2月22日（火）－4月3日（日）

文人とは、一般に詩・書・画に精通した東洋の知識人をいう。文人が余技として制作した美術作品の叙情性ゆたかな造形は、今も私たちを共感させる魅力に溢れている。田能村竹田などわが国を代表する文人の絵画を中心に14点を紹介。

図版：田能村竹田筆 高士喫茶図（部分・重要美術品）
江戸時代

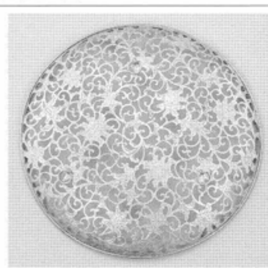
松永記念館室

春の名品展
会期：平成16年4月6日（火）－5月30日（日）

昭和の大茶人・松永耳庵のコレクションから、野々村仁清作　色絵吉野山茶壺（重要文化財）、志野あやめ絵鉢、尾形乾山筆　柳図など、春から初夏にかけての時節に相応しい名品18点を精選して展示。

茶の湯と金工
会期：平成16年6月1日（火）－7月19日（月・祝）

松永耳庵の幅広い収蔵品のなかには、殷時代の青銅器や、仏教法会で散華に用いた華籠、藤原時代の経筒など金工の名品が見られる。耳庵が茶会で花入に見立て用いた「牛形い」（殷時代）などの金工品を中心に、茶道具とともに19点を展観。



図版：金銀鍍透彫華籠 鎌倉時代

夏休みこども美術館2004
こどもギャラリー「のぞいてみよう！茶道具の世界」
会期：平成16年7月21日（水）－8月29日（日）

当館所蔵の茶道具22点をこども向けに展示。作品を比較したり、自分で考えた茶わんを描いてもらうなど、こどもたちが自分たちなりの視点で作品を鑑賞できるよう工夫した展示を行った。夏休みこども美術館のキャラクター「美術館蔵おじいさん」が案内するガイドブックも無料配布した。

秋の名品展
会期：平成16年8月31日（火）－10月24日（日）

名残の茶事にふさわしい、柿の蔕茶碗　銘「白雨」、沢庵茶杓のほか、明恵上人の建永元年9月14日から11月14日にかけての夢を記録した「夢記切」など、秋の情趣を伝える名品17点をよりすぐって展示。

からもの－中国美術と茶道具－
会期：平成16年10月26日（火）－12月26日（日）

中国からの舶載品をいう「唐物（からもの）」は、茶の湯においても草創期から格式高い茶道具として重んじられてきた。松永耳庵の蒐集品から、掛軸、茶入、茶碗、水指など、唐物の優品18点を一堂に展示。

図版：伝・牧谿筆 五祖荷鋤図（重要文化財） 元時代

新春名品展
会期：平成17年1月5日（水）－2月20日（日）

耳庵は正月の茶席に、伝・尾形光琳筆「金銀泥梅花図」と古雲鶴筒茶碗を用いて客をもてなすのが通例であった。これらと共に芦屋雪笹釜など、新春を彩るにふさわしい名品18点を展示。

茶の湯と琳派
会期：平成17年2月22日（火）－4月3日（日）

松永耳庵のコレクションには、耳庵翁が琳派のなかで最も愛した尾形乾山の作品を中心として、絵画・書・陶器などさまざまな作品が含まれている。耳庵遺愛の琳派作品に、茶道具をとりあわせて15点を展観。

図版：尾形乾山作 槍梅香合 江戸時代

東光院仏教美術室

薬師如来と十二神将立像（藤原時代・南北朝時代）ほか東光院伝来の仏教彫刻を展示。

観 覧 料：一般200円（150円）、高・大生150円（100円）、小・中生無料。ただし、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳又は、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。（　）内は団体（20人以上）料金。
観覧者数：p.57を参照。
関連記事：p.17を参照。

常設企画展

特別展
平賀源内のまなざし 源内焼

会期:平成16年7月21日(水)ー10月17日(日)
会場:古美術企画展示室

▲ポスターB2


▲会場風景

内　容

「源内焼」は江戸時代中期に、平賀源内の指導によって現在のさぬき市で焼かれた三彩陶器で、長崎遊学中に学んだ交趾焼陶器の製法により、緑・黄・紫の色鮮やかな作品を作った。いかにも奇才・平賀源内の創出になる焼物らしい、型による精緻な造形、西欧風の文字や世界地図・日本地図といった異国風の斬新な意匠が大きな特徴。本展は123点の「源内焼」を集め、これまでよく知られていなかった「源内焼」の高い芸術性を紹介するもの。

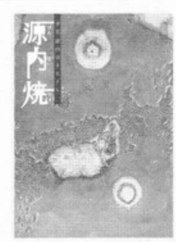
出品点数 123点

観覧料

常設展観覧料

印刷物

ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4・192頁)



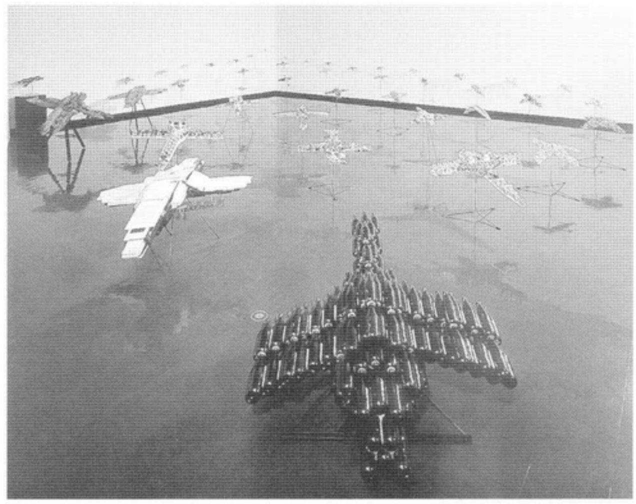
▲図録

第6回21世紀の作家－福岡

違和感を飛び超える術！藤浩志展

会期：平成17年1月5日（水）－4月3日（日）
会場：企画展示室

▲ポスターB2


▲会場風景

内　容

シリーズ第6回目となった本展では、鹿児島市出身で、現在は福岡県二丈町に住み、前原市で制作活動を行う藤浩志を取り上げた。
「かえっこバザール」など観衆参加型の活動を主に行ってきた藤は、久しぶりに本格的な新作インスタレーション「違和感を飛び超える術！」を出品。これは藤の生活／制作活動から排出される廃棄物コレクションを、飛行機型のオブジェに変換した立体と映像作品の組み合わせによるもの。そして彼の現在の活動の原点を指し示す、青年海外協力隊隊員時代の作品「P.N.G.」など過去の作品も併せて展示し、「違和感を飛び超える」藤の活動の原点と今後に迫った。

出品点数　4点

映像作品協力

馬場哲晃、Second Planet（宮川敬一、外田久雄）、鈴木淳ほか

観覧料

常設展観覧料

印刷物

ポスター（B2）
チラシ（A4）
図録（A4変形・56頁）


▲図録

関連記事

p.17を参照。

関連事業

▶新春スペシャル対談
日　　時：平成17年1月5日（水）午後6時～8時
対 談 者：藤 浩志氏
　　　　　ナウィン・ラワンチャイクン氏（美術家）
会　　場：教養講座室
聴講者数：60人

▶藤浩志アーティストトーク
日　　時：平成17年1月15日（土）午後1時30分～4時30分
講　　師：藤 浩志氏
会　　場：教養講座室
聴講者数：50人

▶クロストーク
日　　時：平成17年2月19日（土）午後2時～4時30分
対 談 者：藤 浩志氏
　　　　　出口 敦氏（九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築部門助教授）
会　　場：教養講座室
聴講者数：60人

▶クロストーク
日　　時：平成17年3月19日（土）午後2時～4時
対 談 者：藤 浩志氏
　　　　　井上明彦氏（京都市立芸術大学美術学部助教授・美術家）
会　　場：教養講座室
聴講者数：35人

▶かえっこバザール
日　　時：平成17年4月3日（日）午後2時～4時30分
運　　営：藤浩志企画制作室、福岡市美術館ボランティア、学生ボランティア
会　　場：2階ロビー

展覧会関連記事

大英博物館の至宝展

朝日新聞(夕刊)	H15.11.20	文化/250周年の大英博物館/「文明の衝突」への反証/「公共性」と「普遍性」を2本の柱に
朝日新聞(朝刊)	H16.1.31	世界にあう/大英博展/キーパーおすすめ必見の一点/クパの「王」に力を与え続ける先祖　民族学部キーパージョン・マックさん/ナチュラリズムの芽、獅子のレリーフ　ジョン・カーティスさん　古代近東部キーパー/後世に最も影響を与えた2点の版画　フランシス・ケアリーさん　版画・素描部副キーパー/信仰・心の力が生む美、今も変わらず　先史・ヨーロッパ副キーパー　ジル・クックさん
朝日新聞(朝刊)	H16.3.18	大英博展/森村泰昌さんと歩く/宝に諭されて/ミイラマスク今風の目元/もう区別、おやめなさい/4月10日から福岡市美術館
朝日新聞(夕刊)	H16.4.5	輝くマスク/大英博物館展開封作業進む
朝日新聞(朝刊)	H16.4.6	大英博展/当時の生活想像し楽しんで　黒柳徹子さん/270点の世界一周/時間旅行1万年
朝日新聞(朝刊)	H16.4.6	私と大英博(1)/文化財を守る行動力　平山郁夫さん(画家)
朝日新聞(夕刊)	H16.4.7	私と大英博(2)/力強い造形　圧倒的　船越　桂さん(彫刻家)
朝日新聞(夕刊)	H16.4.8	私と大英博(3)/惜しげもなく公開　菊竹淳一さん(九州産業大教授)
朝日新聞(夕刊)	H16.4.9	私と大英博(4)/美の根源集めた場所　酒井田柿右衛門さん(陶芸家)
朝日新聞(夕刊)	H16.4.10	偏西風/大英博物館(福島健治)
朝日新聞(朝刊)	H16.4.10	大英博物館展きょう開幕
朝日新聞(夕刊)	H16.4.10	いにしえへ誘う至宝/大英博物館展福岡市で開幕
朝日新聞(朝刊)	H16.4.16	大英博展/福岡・東京記念講演/日英の文化交流　理事長ジョン・ボイド氏/相互理解、国際社会にも貢献/草創期から大切な縁/大英博物館と日本-250年間の友好関係　日本担当部長ティモシー・クラーク氏/陶磁器・絵画・・・充実した収蔵品/日本ギャラリー再開へ
朝日新聞(朝刊)	H16.4.20	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/牛頭のある女王のリラ
朝日新聞(朝刊)	H16.4.21	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/双羊尊
朝日新聞(朝刊)	H16.4.23	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/男性のミイラ・ポートレート
朝日新聞(朝刊)	H16.4.25	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/クピドとライオンのモザイク
朝日新聞(朝刊)	H16.4.25	「大英博展」3万人入場
朝日新聞(朝刊)	H16.4.26	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/騎士と死と悪魔
朝日新聞(朝刊)	H16.4.29	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/黒像式オイノコエ ヘラクレスとエリュマントスの猪
西日本新聞(夕刊)	H16.4.30	フリートーク/大英博物館の「至宝」に感激/(読み人知らず)
朝日新聞(朝刊)	H16.4.30	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/ヘルメス小像
朝日新聞(朝刊)	H16.5.1	入場者5万人/福岡・大英博展大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/ネスコンスのカノポス壺
朝日新聞(朝刊)	H16.5.1	入場者5万人/福岡・大英博展
朝日新聞(朝刊)	H16.5.2	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/聖エウスタキウスの聖遺物容器
朝日新聞(朝刊)	H16.5.3	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/コリントス式ヘルメット
朝日新聞(朝刊)	H16.5.3	最多の8239人、至宝にうっとり
朝日新聞(朝刊)	H16.5.4	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/戦闘車両の習作
朝日新聞(朝刊)	H16.5.7	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/観世音菩薩像
朝日新聞(朝刊)	H16.5.8	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/石製浮彫:瀕死のライオン
朝日新聞(朝刊)	H16.5.9	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/神殿の彫像
朝日新聞(朝刊)	H16.5.10	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/文具箱
朝日新聞(朝刊)	H16.5.13	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/心臓スカラベ付胸飾り
朝日新聞(朝刊)	H16.5.13	入場10万人目　東区の主婦に/大英博展
朝日新聞(朝刊)	H16.5.14	大英博展/至宝10万人魅了/来月13日まで/時空を越えて「世界一周」
朝日新聞(夕刊)	H16.5.15	文化/原初の力強い生命賛歌/大英博物館展　画家・菊畑茂久馬氏が選ぶ3点
朝日新聞(朝刊)	H16.5.15	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/シバ神像の奉納板絵
朝日新聞(朝刊)	H16.5.16	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/テーベの女性神官のミイラボード
朝日新聞(朝刊)	H16.5.17	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/海図
朝日新聞(朝刊)	H16.5.19	大英博展入場100万人
朝日新聞(朝刊)	H16.5.19	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/アストロラーベ
朝日新聞(朝刊)	H16.5.22	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/王の頭像
朝日新聞(朝刊)	H16.5.25	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/聖徳太子像
朝日新聞(朝刊)	H16.5.30	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/ホメロスの胸像
朝日新聞(朝刊)	H16.6.1	大英博展この一品/福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒/為朝図

朝日新聞(朝刊)	H16.6.2	大英博展／KBC発私のイチ押し！／「怖いミイラ」イメージ一新／アナウンサー　浜田しのぶさん
朝日新聞(朝刊)	H16.6.3	大英博展が20万人突破／美術館入場者数記録更新の勢い
朝日新聞(朝刊)	H16.6.3	大英博展／KBC発私のイチ押し！／古代石碑と30年ぶり再開　ラジオパーソナリティー　中村もときさん
朝日新聞(朝刊)	H16.6.4	大英博展／KBC発私のイチ押し！／人間の精神確認できた　キャスター　深町健二郎さん
朝日新聞(朝刊)	H16.6.5	大英博展この一品／福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒／ルイス島のチェス駒
朝日新聞(朝刊)	H16.6.6	大英博展この一品／福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒／初転法輪
朝日新聞(朝刊)	H16.6.7	大英博展この一品／福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒／猫
朝日新聞(朝刊)	H16.6.8	大英博展／KBC発私のイチ押し！／迫力満点 瀕死のライオン　アナウンサー　沢田幸二さん
朝日新聞(朝刊)	H16.6.9	大英博展／KBC発私のイチ押し！／天才の気配 感じてぞくり　アナウンサー　田崎日加理さん
朝日新聞(朝刊)	H16.6.10	大英博展／KBC発私のイチ押し！／「チェス駒」の表情 ユニーク　パーソナリティー　徳永玲子さん
朝日新聞(朝刊)	H16.6.10	大英博展この一品／福岡市美術館で開催中　同館学芸員・後藤　恒／仏陀立像
朝日新聞(夕刊)	H16.6.14	大英博福岡展入場30万人超／市美術館で最多
九州ウォーカー 2004 No.8		アート／展覧会／福岡市美術館／大英博物館の至宝展　世界一周1万年の旅／五大陸の精選品を鑑賞して1万年の歴史を感じよう！
博多のうわさ2004年4月号		お客様横町／創立250周年記念　大英博物館の至宝展が福岡市美術館で開催
ぐらんざNo.54(2004年5月号)		Art／世界一周一万年の旅『大英博物館の至宝展』／福嶋明子＝選・文

将軍－徳川家十五代展

読売新聞(朝刊)	H16.7.4	将軍 徳川家十五代展／サムライの頂点に迫る／将軍家伝来の資料など200点／覇権を象徴　圧巻の武具／23日－9月5日、福岡市美術館で／十八代当主ら講演
読売新聞(朝刊)	H16.7.22	「徳川家15代展」開幕へ準備万端
読売新聞(朝刊)	H16.7.24	「徳川家15代展」開幕／福岡市美術館
読売新聞	H16.7.25	徳川宗家十八代当主が講演／福岡市美術館／歴史ファン400人思いはせ
読売新聞(朝刊)	H16.8.3	将軍徳川家十五代展から(1)／重要文化財「唐物肩衝茶入　銘　初花(はつはな)」(徳川記念財団所蔵)＝八月十五日まで展示＝／(福岡市美術館学芸員　岩永悦子)
読売新聞(朝刊)	H16.8.4	将軍徳川家十五代展から(2)／重要文化財「歯朶(しだ)具足　徳川家康所用」(久能山東照宮博物館所蔵)＝八月十五日まで展示＝／(福岡市美術館学芸員　岩永悦子)
読売新聞(朝刊)	H16.8.5	将軍徳川家十五代展から(3)／重要文化財「太刀 無銘 光世(みつよ)」(久能山東照宮博物館所蔵)／(福岡市美術館学芸員 岩永悦子)
朝日新聞(朝刊)	H16.8.6	徳川展入場者数1万人を突破
読売新聞(朝刊)	H16.8.6	将軍徳川家十五代展から(4)／「東照大権現像(霊夢像) 狩野探幽筆」(徳川記念財団所蔵)／(福岡市美術館学芸員 岩永悦子)
読売新聞(朝刊)	H16.8.7	将軍徳川家十五代展から(5)／「御所人形　菱文付着衣座姿　和宮所持」(徳川記念財団所蔵)／(福岡市美術館学芸員　岩永悦子)
読売新聞(朝刊)	H16.8.8	ファン聞き入る朝廷との縁組／徳川展で記念講演
読売新聞(朝刊)	H16.8.11	ロマンあふれる歴史再発見／サムライたちの頂点－家康から慶喜への軌跡　将軍徳川家十五代展／将軍家伝来の資料など200点
読売新聞(朝刊)	H16.8.19	顔／徳川記念財団の学芸員　徳川典子さん　35／「いつかは常設展示したい」／(文化部　池田和正)
読売新聞(朝刊)	H16.8.19	「将軍 徳川十五代展」に寄せて　徳川恒孝／成熟の江戸時代　現代に勇気／家宝の太刀3振も一堂に／(とくがわ・つねなり＝徳川記念財団理事長・徳川宗家第十八代当主)
読売新聞(朝刊)	H16.8.21	徳川展入場者3万人突破／佐竹さん(城南区)に記念品
朝日新聞(朝刊)	H16.8.31	徳川家十五代展会期残りわずか／福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H16.9.4	徳川家十五代展入場者5万人／あすまで
九州ウォーカー 2004 No.16		アート／展覧会／将軍　徳川家十五代展／江戸幕府の歴史を築いた徳川家の将軍たち　彼らの愛用品や直筆の書画を鑑賞できる
人・街・イベント情報－イベントナビプレス 2004 8 9 vol.06		Japan in Motion／From 福岡／サムライたちの頂点－家康から慶喜への軌跡「将軍　徳川家十五代展」

ルーヴル美術館展

読売新聞(朝刊)	H16.1.1	中世フランス黄金の時代　ルーヴル美術館展
読売新聞(朝刊)	H16.9.15	中世仏の秘宝　精選110点／福岡市美術館　28日からルーヴル美術館展
読売新聞(朝刊)	H16.9.16	重厚 華麗 感動の名品／ルーヴル美術館展－中世フランスの秘宝－／9月28日－11月28日　福岡市美術館で開催
読売新聞(朝刊)	H16.9.28	華麗な世界を堪能／ルーヴル美術館展きょうから公開
読売新聞(朝刊)	H16.9.29	中世彫刻の魅力200人が聞き入る／ルーヴル美術館展講演
読売新聞(朝刊)	H16.10.10	ルーヴル美術館展1万人突破
読売新聞(朝刊)	H16.10.13	ルーヴル美術館展から(1)／ライオンのいる洞窟のダニエル／(福岡市美術館学芸員　三谷理華)

読売新聞(朝刊)	H16.10.14	ルーヴル美術館展から(2)／聖遺物箱・磔刑、王座のキリスト／(福岡市美術館学芸員　三谷理華)
読売新聞(朝刊)	H16.10.15	ルーヴル美術館展から(3)／王冠を捧げる天使／(福岡市美術館学芸員　三谷理華)
団地新聞	H16.10.15	随筆　文化／ルーヴル美術館展－中世フランスの秘宝－／十一月二十八日まで　福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H16.10.16	ルーヴル美術館展から(4)／聖母子像／(福岡市美術館学芸員　三谷理華)
読売新聞(朝刊)	H16.10.17	ルーヴル美術館展から(5)／聖母子像／(福岡市美術館学芸員　三谷理華、おわり)
読売新聞(朝刊)	H16.10.18	読売新聞西部本社発刊40周年記念　ルーヴル美術館展－中世フランスの秘宝－
読売新聞(朝刊)	H16.10.20	ルーヴル美術館展－中世フランスの秘宝－　11月28日(日)まで　福岡市美術館／深遠で華麗な世界に魅了／至高の作品群　展示にも工夫／【会場の声】
読売新聞(朝刊)	H16.10.22	ルーヴル美術館展　中世フランスの秘宝／彫刻美　力強さと優雅さ／(白石知子)
読売新聞(朝刊)	H16.10.24	フランス美術の魅力語る／「ルーヴル展」セミナーに250人
読売新聞(朝刊)	H16.10.28	ルーヴル美術館展3万人／福岡市美術館　入場者に記念品送る
読売新聞(朝刊)	H16.11.5	ルーヴル美術館展に寄せて　馬杉宗夫／大胆、自由奔放な形と光／(武蔵野美術大学教授)
朝日新聞(夕刊)	H16.11.6	美術／仏中世美術の豊かさ実感／福岡市美術館　ルーヴル美術館展／(福岡市博物館学芸員　中山喜一朗)
読売新聞(朝刊)	H16.11.11	ルーヴル美術館展－中世フランスの秘宝－　11月28日まで福岡市美術館／生命と魂　輝く時代／会場の声／別の一面見る機会／福岡市美術館学芸員　三谷理華
読売新聞(朝刊)	H16.11.13	ルーヴル美術館展5万人突破
ボン・ヴォヤージュ 2003秋号(エール・フランス機内誌)		ルーヴル美術館展＝中世フランス美術＝開催
Yomiuri Weekly 2004.6.27		YW Gallery／ルーヴル美術館展 中世フランスの秘宝／柱頭に刻んだ「深い精神性」／(新潟県立近代美術館 主任学芸員 平石昌子)
Yomiuri Weekly 2004.7.4		YW Gallery／ルーヴル美術館展 中世フランスの秘宝／ルネサンスの息吹に触れて／(新潟県立近代美術館 主任学芸員 平石昌子)
シティ情報ふくおかNo.627(2004年9月20日発行)		Art／展覧会／ルーヴル美術館展～中世フランスの秘宝～／日本初となるルーヴルの中世美術展はあと、福岡だけでしか見られません!!
九州ウォーカー2004年10月12日号		アート／展覧会／ルーヴル美術館展－中世フランスの秘宝－／世界的に有名な美術館の彫刻と工芸から約110点の中世フランスの美術作品を公開

第39回福岡市美術展

西日本新聞(朝刊)	H17.2.25	韓国人留学生・黄さん最高賞／福岡市美術展入賞・入選作決まる／来月8日から展示
朝日新聞(朝刊)	H17.2.26	特別賞に韓国人留学生／福岡市美術展8日から入選作展示
毎日新聞(朝刊)	H17.3.1	福岡市美術展新設の特別賞／黄さんの「カオス」に／洋画部門の最高賞も／【安達一成】
読売新聞(朝刊)	H17.3.5	最高賞に韓国人留学生・黄さん／福岡市美術展
西日本新聞(朝刊)	H17.3.15	福岡市美術展の表彰式／市美術館　700人に賞状授与

第6回21世紀の作家－福岡　違和感を飛び超える術！藤浩志展

西日本新聞(朝刊)	H17.1.6	日々感じる"違和感"形に／美術家藤さんが作品展／福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H17.1.16	不用品でゲージュツ／福岡市美術館　藤さん個展
毎日新聞(夕刊)	H17.1.28	アートの"動機"はモヤモヤ／いい関係目指して／藤浩志個展／(米本浩二)
朝日新聞(夕刊)	H17.1.29	文化／旬の人俊のひと／藤浩志　美術家／「日常」を輝かせる技磨く／(文・西岡一正写真・山本正樹)
読売新聞(朝刊)	H17.2.5	ベスト展／前野りりえ(詩人)／★藤浩志展「違和感を飛び超える術！」(福岡市美術館)
西日本新聞(朝刊)	H17.2.9	藤浩志　6年ぶり新作展／"芸術"の懐深さ示す／違和感を飛び超える術！／時代見つめ提案型表現「芸術を生活の中に」／インタビュー／(塩津)
読売新聞(朝刊)	H17.4.1	想像力いざなう美学／藤浩志展　美術を強化し拡張／(白石知子)
美術手帖 Vol.57 No.861(2005年2月号)		CASE STUDY 04　藤浩志／信頼し合える人間関係がいい活動を続ける力になる／白坂ゆり
モンタン 2005年2月号		People 藤浩志さん アーティスト／みんなと一緒に、誰にでも手に入れられるものを使って日常の違和感を飛び越える手法を考えて行きたい。

本多コレクションによる「水の器－水注・水滴・瓶」

日本経済新聞(夕刊)	H16.10.9	福岡市美術館／東南アジアの古美術を展示／本多氏収集の水差しや瓶

モホリ＝ナギの写真

西日本新聞(朝刊)	H16.9.25	展覧会・講演・教養／わが館の逸品／福岡市美術館／「ラースロとルチア、二重のポートレート」／(福岡市美術館学芸員・鬼本佳代子)

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術とのより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年度より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークを始め、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

福岡市内小・中学校および幼稚・保育園を対象としたギャラリートーク

学校団体への常設展示鑑賞のサポートとして、教師との事前打ち合わせなどをもとに、ギャラリーガイドボランティアによるギャラリートークを行っている。平成16年度の学校利用は以下の通り。

平成16年

5月28日（金）	福岡市立赤坂幼稚園	園児60人	引率10人
7月 6日（火）	福岡市立南当仁小学校5年生	児童70人	
7月13日（火）	福岡市立南当仁小学校5年生	児童70人	
7月29日（木）	福岡市立南庄保育所	園児21人	引率4人
9月14日（火）	福岡市立赤坂小学校3年	児童 70人	
10月 5日（火）	福岡雙葉小学校5年生	児童150人	
10月 8日（金）	福岡市立赤坂小学校4年生	児童50人	
11月17日（水）	福岡市立早良中学校	生徒138人	引率19人
12月 9日（木）	福岡市立赤坂幼稚園	園児95人	引率13人
12月16日（木）	福岡市立香住ヶ丘小学校5年生	児童160人	

平成17年

2月17日（木）	福岡市立吉塚小学校5年生	児童64人	引率2人
2月24日（木）	福岡市立屋形原養護学校中学部	生徒9人	引率13人
3月 1日（火）	福岡市立壱岐小学校5年生	生徒160人	

中学校交流ワークショップ 「中学生（美術部）の交流を通してワークショップをつくろう！」

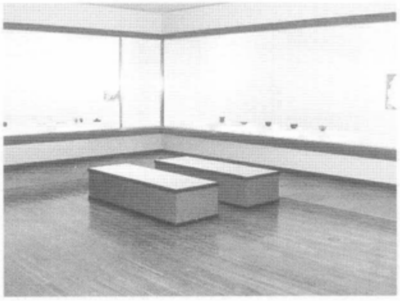
日　　時：平成16年7月23日（金）
場　　所：教養講座室、実技講座室および2階ロビー
参 加 校：福岡市立舞鶴中学校、同平尾中学校、同東住吉中学校
参加人数：23人（ワークショップを企画した参加者）
スタッフ：福岡市中学校美術教育研究会会員教師（伊東佳子、田中義徳、安岡弘喜各氏）および当館学芸員
共　　催：福岡市中学校美術教育研究会

内　　容：福岡市内の中学校との交流事業として、福岡市中学校美術教育研究会の教師と協力して中学生向けの教育普及活動を行った。今回は、中学生自身が当館の作品を鑑賞するためのワークショップを企画した。

夏休みこども美術館2004

こどもたちに、当館の所蔵品を知り、またそれらに親しんでもらうための、展示・ワークショップ・ギャラリートークを組み合わせた複合的な教育普及プログラム。毎年テーマを決めて実施するが、平成16年度のテーマは「茶道具」であった。

こどもギャラリー「のぞいてみよう！茶道具の世界」



会　　期：平成16年7月21日（水）－８月29日（日）
会　　場：松永記念館室
展示作品：砧青磁無蕪花入、古染付山水絵水指、茶杓　銘「茶僧」、黒楽茶碗　銘「次郎坊」など22点。

内　　容：当館所蔵の茶道具をこども向けに展示。作品を比較したり、自分で考えた茶わんを描いてもらうなど、こどもたちが自分たちなりの視点で作品を鑑賞できるよう工夫した展示を行った。夏休みこども美術館のキャラクター「美術館蔵おじいさん」が案内するガイドブックも無料配布した。（ガイドブックについてはp.26を参照）

こどもワークショップ「みんなでお茶会」

日　　時：平成16年8月7日（土）、8月21日（土）　いずれも午前10時～12時頃まで
場　　所：教養講座室、松永記念館室および日本庭園小間
対　　象：小学校4年生～中学校3年生
参 加 費：一人500円
参加人数：34人
講　　師：表千家同門会福岡支部、美術館スタッフ
アシスタント：原田真紀、松原知子

内　　容：実際にお茶会を催し、お茶を飲みながら、道具に触れ、また使い方を知ることで、こどもたちに茶道具に親しんでもらおうというワークショップ。お茶会の前後に「こどもギャラリー」で作品を鑑賞した。

美術館探検

日　　時：平成16年7月28日、8月4日、11日、18日、25日（全て水曜日）
いずれも1日2回午前10時と午後1時から。時間は1時間程度。
対　　象：小学生（当日受付）
参加人数：117人
学生アシスタント：青木亜衣子、荒木文果、池田有子、岩本英恵、川瀬陽子、川添梓、清水聡子、浜崎志乃、山岡里枝

内　　容：学生アシスタントとともに美術館のバックヤードを探検しながら、こどもたちに美術館が持っている作品保存や展示の機能を知ってもらうというもの。その後、こどもギャラリーにてギャラリートークを行った。

こども向けギャラリートーク

日　　時：平成16年7月21日（水）から8月29日（日）の休館日をのぞく毎日。
午後2時30分から40分程度。
参加人数：132人

内　　容：当館の解説ボランティアがテーマを決めて、常設展示の作品の中から3点を選び、こども向けに紹介した。なお、事前申し込みは不要で、大人も参加出来るようにした。

福岡市・北九州市連携事業

2004年 福岡市・北九州市連携事業 芸術・文化交流企画

アートな遠足 ～福岡市美術館と北九州市立美術館を結ぶ～

2001年より毎年開催されている福岡市と北九州市の芸術・文化に関する交流事業として、当館と北九州市立美術館による教育普及企画を実施した。「似ているけれど似ていない」この2つの美術館を、環境、建築、作品を切り口に、3つのバスツアーという形で比較紹介するというもの。両館で参加者をつのり、当日は北九州市立美術館で合流。往復はバスで行った。

1) 秋の自然と美術館ツアー

日　　時：9月18日（土）　福岡の参加者・・・午前9時30分～午後4時30分
　　　　　　　　　　　　　北九州の参加者・・・午前11時～午後6時
参加人数：36人
参 加 費：800円
講　　師：真鍋 徹氏（北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館学芸員）

内　　容：両館が建つ「大濠公園」そして「美術の森」を散策しながら、その環境の違いや共通点を、参加者に楽しんでもらうというツアー。散策後は野外に展示してある作品を鑑賞。

2) こだわりの建築と芸術ツアー

日　　時：9月19日（日）　福岡の参加者・・・午前9時30分～午後4時30分
　　　　　　　　　　　　　北九州の参加者・・・午前11時～午後6時
参加人数：43人
参 加 費：800円
講　　師：鈴木達郎氏（建築家）

内　　容：前川國男設計の福岡市美術館と磯崎新設計の北九州市立美術館。講師である建築家の案内で、両館の建築のおもしろみや違いを参加者みんなで発見した。

3) あなたが語る作品ツアー

日　　時：9月11日（土）、9月12日（日）　午後1時30分～3時30分
　　　　　9月20日（月・祝）福岡の参加者・・・午前9時30分～午後4時30分
　　　　　　　　　　　　　　北九州の参加者・・・午前11時～午後6時
参加人数：18人
参 加 費：800円
講　　師：花田伸一氏（北九州市立美術館学芸員）、鬼本佳代子（福岡市美術館学芸員）

内　　容：北九州市からの参加者には北九州市立美術館の作品について、福岡市からの参加者には福岡市美術館の作品について、ギャラリートークを行ってもらうというツアーであった。事前に、練習の日を2日間設け、3日目に実際にトークを行った。

印刷物

記録集（A4・14頁）

講座

第7回 所蔵品によるアートセミナー
「20世紀前半の前衛写真：モホリ＝ナギの視覚」

日　　時：平成16年10月9日（土）、10日（日）　いずれも午後1時30分～3時30分
場　　所：教養講座室および小作品室
参加人数：25人
講　　師：井口壽乃氏（埼玉大学助教授）

内　　容：当館の所蔵品を、外部講師を招き、詳しく鑑賞するというセミナー。第７回目となるこの回は、常設展示「モホリ＝ナギの写真」に合わせ、『ハンガリー・アヴァンギャルド　MAとモホイ＝ナジ』の著者で埼玉大学助教授である井口壽乃氏を招いて開催した。

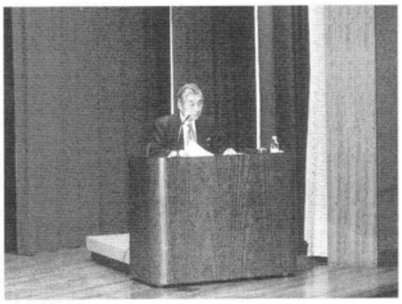
つくって！わかる？アート講座vol.1
「インスタレーション」って何？～見慣れた場所を変化させる技～

日　　時：平成17年3月26日（土）　午後1時30分～4時
　　　　　3月27日（日）　午前10時～午後4時
展示期間：3月27日（日）～4月10日（日）
場　　所：教養講座室、実技講座室およびエスプラナード
対　　象：問わない
参加人数：15人
参 加 費：500円
講　　師：村上 勝氏（美術家）

内　　容：一般にはあまり知られていない美術の表現方法をテーマに取り上げ、その表現による作品を、参加者に実際に作ってもらうシリーズ講座。作るという体験を通してその表現を理解していただくことを目指し、1回目となるこの回では「インスタレーション」をとりあげ、できあがった作品はエスプラナードに展示した。

開館記念事業

福岡市美術館開館25周年記念事業・京都芸術大学「秋の収穫祭」
講演会「描かれた都市－京都・パリ・ヴェネチアー」

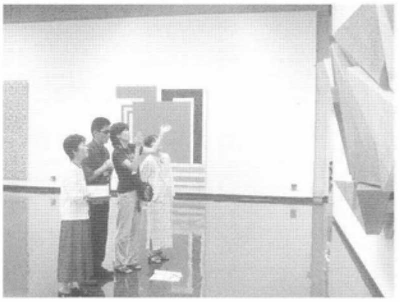


日　　時：平成16年11月21日（日）　午後3時～4時30分
講　　師：芳賀 徹氏（京都造形芸術大学学長・岡崎美術館館長）
会　　場：講堂
聴講者数：88人

内　　容：開館25周年の記念事業と京都造形芸術大学の「秋の収穫祭」という各地の同大学生が集う事業も兼ね、比較文化研究者である同大学の芳賀学長の講演を開講。同時期開催のルーヴル美術館展の内容もふまえ、国際的な視点から、パリ、ヴェネチア、京都と東西の都市についてその景観図などから比較を行った。

協力事業

第19回国民文化祭・ふくおか2004
つなぐ！ひとまちアートフェスティバル
～障害のある人たちの表現活動から～



日　　時：平成16年8月8日（日）　午前10時～12時
　　　　　平成16年8月21日（土）　午後5時～7時
場　　所：近現代美術室
参加人数：8月８日 視覚障がい者 3人 ／ 晴眼者 7人
　　　　　8月21日 視覚障がい者 5人 ／ 晴眼者 9人
主　　催：文化庁／福岡県／福岡県教育委員会／春日市／春日市教育委員会／福岡県社会福祉協議会／春日市社会福祉協議会／第19回国民文化祭福岡県実行委員会／第19回国民文化祭春日市実行委員会

内　　容：第19回国民文化祭のうち、春日市教育委員会社会教育課（第19回国民文化祭春日市実行委員会）が企画した視覚障がい者のためのギャラリートークへの協力を行った。

エイブル・アート・ジャパンによる
「言葉による美術鑑賞ワークショップ」

期　　日：平成17年2月6日（日）
場　　所：常設展示室
参加人数：視覚障がい者 2人 ／ 晴眼者 8人 ／ MARメンバー4人 ／ エイブル・アート・ジャパン事務局 1人
主　　催：エイブル・アート・ジャパン

内　　容：障がい者による美術活動を支援し、かつ障がい者のための美術活動を行っているNPOエイブル・アート・ジャパンによる視覚障がい者のためのギャラリートークに協力した。実施に際しては、エイブル・アート・ジャパン内にあり、視覚障がい者のための鑑賞活動を行っているグループMARのメンバーも参加した。

博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習について、実習希望の学生を受け入れ、平成16年5月17日から同年11月30日までの期間に必要日数の実習を行った。

■福岡教育大学（10日間）
吉田望子　中等教育教員養成課程美術専攻　４年

■西南大学（10日間）
田江悠莉　文学部国際文化学科　４年
池田有子　同　４年
久賀扶希子　同　科目等履修生

■福岡大学（10日間）
谷川結貴　人文学部文化学科　４年

■筑紫女学園大学（10日間）
楢崎浩子　文学部日本語学科　４年

■北九州大学（10日間）
浦川祐子　文学部人間関係学科　４年

■九州産業大学（10日間）
蓑原真実子　大学院芸術研究科デザイン専攻
　　　　　　修士課程２年次

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度４校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成16年8月24日(火)、25日(水)	小石原中学校組合立東峰中学校	1名
平成16年9月15日(水)	福岡市立城南中学校	5名
平成16年9月16日(木)	福岡市立舞鶴中学校	6名
平成16年10月14日(木)	福岡市立片江中学校	3名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるような、資料を通しての普及啓蒙活動を行う。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を特集。

■特別展関連図書特集

・平成16年4月6日(火)―6月13日(日)「大英博物館の至宝展」関連
・平成16年7月21日(水)―9月5日(日)「将軍ー徳川家十五代展」関連
・平成16年9月28日(火)―11月28日(日)「ルーヴル美術館展」関連

■読書室企画図書特集

夏休みこどもとしょかん
「よんでみよう！みてみよう！古美術の世界」

期　　間：平成16年7月21日(水)―8月29日(日)

内　　容：夏休みこども美術館2004こどもギャラリー「のぞいてみよう！茶道具の世界」展の開催に伴い、古美術をテーマにしたこども向けの美術書や他の美術館・博物館が作成したこども向けのガイドブック、古美術作品を使った絵本などを25冊特集した。ここで特集した本のリストは同展のガイドブックの巻末に記載した。

本で見てみる「福岡市美術館」のこと

期　　間：平成16年11月30日(火)―平成17年3月27日(日)

内　　容：当館開館25周年を記念して、今までの当館の活動内容や所蔵品について書かれた新聞記事や雑誌、展覧会図録などを20冊特集した。

ボランティア活動

■ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティアと美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティアとわかれる。

■新規ボランティア募集

今年度は12年ぶりに新規ボランティアを募集した。それにともない、ボランティア・ガイドラインを作成し、またそれぞれのグループの名称も変更した。さらに、平成17年度より新たに美術家情報整理ボランティアを設置することを決定した。なお、選考は応募時に提出してもらった作文と、面接により行った。

募集期間：平成16年12月1日－平成17年1月10日
面　接　日：平成17年2月9日、10日、12日、19日
応募人数：129人
採用人数：71人

■ギャラリーガイドボランティア（旧解説ボランティア）

当館の常設展示作品と来館者を、「話し」を通してつなぐボランティア。観光バスによる来館者のために昭和60年に活動を開始した。現在は学校団体向けギャラリートークを中心に、来館者の作品鑑賞をサポートしている。基本的に休館日を除く毎日、曜日ごとにグループに分かれて活動を行っている。

平成16年

4月25日	(日)	個人団体	2人	
4月27日	(火)	福岡県立久留米聾学校小学部	児童22人	引率13人
5月11日	(火)	山香町芸術鑑賞バス	50人	
6月 4日	(金)	春日市適応指導教室	中学生3人	引率2人
6月12日	(土)	個人団体	4人	
6月18日	(金)	カリフォルニア州立大学フラートン校　サイプレス・カレッジ	生徒35人	引率2人
7月 8日	(木)	賀茂校区女性協議会	15人	
7月22日	(木)	岡垣町立岡垣中学校	生徒30人	引率1人
8月 3日	(火)	黒木町公民館女性学級	39人	引率1人
8月 5日	(木)	小倉中学校美術部	生徒10人	
8月10日	(火)	みはな女性セミナー	25人	
8月21日	(土)	有田校区子ども会育成連合会	小学生30人	引率5人
9月14日	(火)	滋賀県立近代美術館友の会	34人	
9月24日	(金)	NHK文化センター高松	40人	
10月 7日	(木)	退職公務員連盟城南区支部	20人	
10月21日	(木)	田皆中学校	生徒35人	引率3人
10月28日	(木)	広川町中央公民館みのり学級	70人	
11月 5日	(金)	NHK北九州文化センター	60人	
11月 7日	(日)	やまだクローバースタンプ会	20人	
11月11日	(木)	適用指導教室松風学校	生徒10人	引率4人
11月16日	(火)	宮野小学校4年生	生徒13人	引率3人
11月17日	(水)	三潴郡城島町立城島小学校6年生	児童40人	引率3人
11月19日	(金)	大和町立六合小学校	児童28人	引率2人
12月 7日	(火)	筑紫野市立天拝小学校	児童96人	引率4人
12月16日	(木)	田皆中学校	生徒35人	引率4人

平成17年

1月13日	(木)	宗像市自由ヶ丘小学校	児童29人	引率2人
1月26日	(水)	大和町立豊原小学校	児童29人	引率2人
2月13日	(日)	金華保育園（保育士）	57人	
2月19日	(土)	トヨタL&F	62人	
2月26日	(土)	大野城市こどもサミット	小・中学生25人	引率2人
3月29日	(火)	個人団体	8人	

（なお、福岡市内小・中学生へのギャラリーガイドについては、アートアドベンチャーを参照のこと）

■美術情報ボランティア＜図書整理ボランティア＞

・作業日

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行う。

・作業内容

○分類ラベル作成および添付作業
図書資料用の分類ラベルに該当する分類を書き込み、そのラベルを資料に添付する。

○目録カード整理作業
目録カードに標目を記載する。
分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

○パンフレット資料整理作業
作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

○広報誌整理作業
他機関発行の広報誌を綴じる作業および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

○情報誌整理作業
タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。

○書架整理作業
複部数ある資料を書架から抜き出す。
資料の配架変えをする。
書架表示を作成する。

○逐次刊行物目次ファイルチェック
目次ファイルをチェックし、目次の欠号等を補充する。
目次ファイルの有無を逐次刊行物の受付簿に記載する。

○クリッピングファイル整理
資料内容をファイルに表示する。

○一括寄贈図書整理
資料にラベルを添付する。
資料を配架する。
配架別のリストを作成する。

■美術情報ボランティア＜新聞情報ボランティア＞

・作業日

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。
月曜日：毎日新聞、火曜日：読売新聞、水曜日：西日本新聞、木曜日：朝日新聞、土曜日：日経新聞

・共同作業

月１回共同作業日（原則毎月10日）を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。次年度から始まる新規ボランティア採用を前に、過去の積み残しの作業完了を旧ピッチで進めた。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度も月1回作成した（第22号～第34号）。

平成16年

4月 7日（水）	水曜班「おすすめ新聞美術記事」第22号作成	
4月13日（火）	共同作業　1993年の未整理記事チェック・切抜き	参加5名
5月10日（月）	共同作業 4月分死亡記事の整理	参加7名
6月20日（木）	木曜班「おすすめ新聞美術記事」第23号作成	
6月10日（木）	共同作業 1993年の未整理記事チェック・切抜き	参加1名
6月12日（土）	土曜班「おすすめ新聞美術記事」第24号作成	
7月10日（土）	共同作業 1993年の記事チェック・切り抜き終了	参加9名
7月12日（月）	土曜班「おすすめ新聞美術記事」第25号作成	
8月10日（火）	共同作業 1994年の未整理記事台紙貼り	参加6名
8月24日（火）	火曜班「おすすめ新聞美術記事」第26号作成	
8月31日（火）	ボランティア総会	
9月10日（水）	共同作業 1994年の記事チェック・切り抜き整理終了	参加9名
9月15日（水）	水曜班「おすすめ新聞美術記事」第27号作成	
10月12日（火）	共同作業 1992年の未整理記事台紙貼りほか	参加9名
10月14日（火）	木曜班「おすすめ新聞美術記事」第28 号作成	
11月10日（水）	共同作業 1993年、1994年記事の追加整理	参加6名
11月13日（土）	土曜班「おすすめ新聞美術記事」第29号作成	
12月10日（水）	共同作業 1993年の記事ファイル	参加4名
12月13日（月）	月曜班「おすすめ新聞美術記事」第30号作成	

平成17年

1月18日（火）	火曜班「おすすめ新聞美術記事」第31号作成	
2月10日（木）	共同作業　1993年の記事ファイル終了	
	新規ボランティア採用についての話し合い	参加10名
2月16日（水）	水曜班「おすすめ新聞美術記事」第32号作成	
3月10日（木）	木曜班「おすすめ新聞美術記事」第33号作成	
	共同作業　1980年代の未整理記事切抜きほか	参加4名

出版物

■展覧会図録

図録名	規格	頁数	編集・発行	発行日
第6回21世紀の作家－福岡　違和感を飛び超える術！－藤浩志展	A4変形	56	福岡市美術館	平成17年1月20日
第39回福岡市美術展	A4変形	49	福岡市美術展運営委員会	平成17年3月8日

■常設展リーフレット

企画展示室リーフレット

展覧会名	規格	頁数	発行日
吉田博と太平洋画会の画家たち	A4	4	平成16年8月31日

小作品室リーフレット

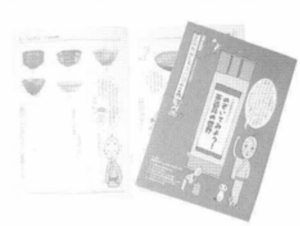
No.	展覧会名	規格	頁数	発行日
234	昭和期の創作版画	A4	4	平成16年4月6日
235	靉嘔の版画とオブジェ	A4	4	平成16年5月11日
236	李禹煥とアニッシュ・カプーア	A4	4	平成16年6月15日
237	藤森静雄の挿絵と装丁	A4	4	平成16年7月21日
238	モホリ＝ナギの写真	A4	4	平成16年8月31日
239	阿部守展－ドローイングを中心に－	A4	4	平成16年10月26日
240	黒崎彰展	A4	4	平成17年1月5日
241	ディックスとシュミット＝ロットルフ	A4	4	平成17年2月22日

古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
154	円山応挙と京都画壇	A4	2	古美術企画展示室	平成16年4月6日
155	茶の湯と金工	A4	4	松永記念館室	平成16年6月1日
156	本多コレクションによる「水の器－水注・水滴・瓶」	A4	4	古美術企画展示室	平成16年10月19日
157	からもの　中国美術と茶道具	A4	4	松永記念館室	平成16年10月26日
158	仙厓展－禅らしからぬ－	A4	4	古美術企画展示室	平成16年11月23日
159	うるしの美	A4	4	古美術企画展示室	平成17年１月5日
160	文人の美術	A4	4	古美術企画展示室	平成17年2月22日
161	茶の湯と琳派	A4	4	松永記念館室	平成17年2月22日

■夏休みこども美術館　こどもギャラリーガイドブック

名称	規格	頁数	発行日
夏休みこども美術館2004　こどもギャラリー　のぞいてみよう！茶道具の世界	A4	6	平成16年7月21日



▶ こどもギャラリーガイドブック

■アートな遠足記録集

名称	規格	頁数	発行日
2004年 福岡市・北九州市連携事業 芸術・文化交流企画 アートな遠足 ~福岡市美術館と北九州市立美術館を結ぶ~ 記録集	A4	14	平成17年3月25日

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成15年度 福岡市美術館活動の記録	A4	63	平成17年3月15日

▶平成15年度福岡市美術館活動の記録

■美術館ニュース　エスプラナード

No.	発行日	内　容	規格	頁数
135	平成16年4月1日	開館25周年記念特集ーVol.1 福岡市美術館　過去・現在・未来／特集1 福岡市美術館開館25周年記念大英博物館の至宝展～世界一周１万年の旅／平成16年度福岡市美術館　特別展・常設展ラインナップ／常設展示より　円山応挙と京都画壇／所蔵品紹介　近現代250　アンディ・ウォーホル「エルヴィス」再考／福岡市美術館展覧会案内／他館の展覧会案内／NEWS&INFORMATION・平成16年度エスプラナード購読者募集・福岡市美術館のホームページもご利用ください!!／編集後記	A4	12
136	平成16年7月1日	特別展　将軍　徳川家十五代展／古美術企画展　平賀源内のまなざし「源内焼」／開館25周年記念特集 Vol.2 福岡市美術館　過去・現在・未来／常設展示より　夏休みこども美術館2004こどもギャラリー「のぞいてみよう！茶道具の世界」／所蔵品紹介　近現代251　太田コレクション　中村彝《静物》／福岡市美術館展覧会スケジュール／他館展覧会案内／TOPICS　ダリとミロ、海外に貸し出します！／美術館からのお知らせ・ホームページもチェックしよう！・平成16年度エスプラナード購読者募集／編集後記	A4	12
137	平成16年10月1日	特別展　ルーヴル美術館展ー中世フランスの秘宝ー／開館25周年記念特集 Vol.3 福岡市美術館の想い出／常設展示より　日本美術院の画家たち／所蔵品紹介　古美術252　狩野昌運　異代同戯図巻 一巻／福岡市美術館展覧会スケジュール／他館展覧会案内／美術館からのお知らせ・ホームページもチェックしよう！・平成16年度「エスプラナード」購読者募集・開館25周年記念第4弾企画　みなさんの「未来の美術館」を募集します／編集後記	A4	12
138	平成17年1月1日	企画展　第6回21世紀の作家ー福岡　違和感を飛び超える術！ー藤浩志展／開館25周年記念特集Vol.4 未来の美術館／常設展示より　文人の美術／所蔵品紹介　近現代253　冨田溪仙《筑紫八景より》観世音寺の晩鐘/千代の松原積雪／福岡市美術館展覧会スケジュール／他館展覧会案内／美術館からのお知らせ・福岡市美術館のボランティアを募集します・読書室だより・平成17年度「エスプラナード」購読者募集／編集後記	A4	12

▶エスプラナード135～138号

教育委員会専門職員国内研修における調査研究

渡邊雄二

研 修 期 間：平成17年2月14日（月）ー同年3月18日（金）
研 修 機 関：京都国立博物館
研修テーマ：「日本美術の都鄙」
江戸時代までの地方と都の絵画の様相の違いについて、福岡では調査できない点を中心に調査した。

研 修 内 容

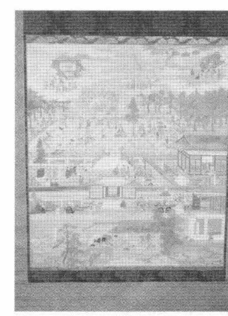
○京都の障壁画・・・都の「場」と近世絵画

「狩野派と福岡」展でみたように江戸時代、地方においても狩野派の絵師が活動したが、都での絵師たちの絵画活動の中で、とくに建築に付属した絵画について調査した。建築と絵画画面との関係、その配置など、これまで図版で平面的に知っていた絵を立体的に理解することができた。多くの障壁画のうち、二条城二の丸と南禅寺大方丈を軸に見て回り、桃山時代の都の絵師の活動を改めて認識した。天井画などは調査の報告がされていない箇所も多いようであった。

▲南禅寺三門

○京都の木村姓の絵仏師・・・都と鄙を活動の場にした近世画家たち

「近世の絵仏師」展で示した京都の木村姓の絵仏師については、京都国立博物館で調査した寺社調査報告書および調査データベースでの検索の結果、未知のものは5件と意外に少ない件数であった。宇治市・萬福寺や小松寺、梵釈寺など滋賀県の黄檗寺院や南禅寺の三門などを調査した。木村姓の活動の場として、都（京都及び周辺）あるいは黄檗寺院などを想定していたが、存外に作例が少なく、われわれが発見する地方の例も重要であるということを確認した。



▲小松寺の仏誕生図

○景観図のモチーフと実風景・・・絵画と現実の相違

狩野永徳の作ともいわれる滋賀県立近代美術館所蔵の近江名所図屏風の景観の視点を観音寺城からと考え、琵琶湖西岸の景観を確認した。実際、桑実寺、観音寺城などにのぼったが、図のような景観は表れなかった。また、雪舟筆天橋立図は多くの論者によって実景との関わりを述べられたもので、実景を確認したいと思った。実際に訪れてみると、琵琶湖の場合と同様、一視点で絵のような景観を見ることが出来る場所は、地上にはないようであった。雪舟の絵は、当時としては異例の実景的な表現ではあるが、その意味は単に実景を写したものではないようだ。

▲天橋立

○京都の涅槃図調査

2月15日は釈迦の入滅の日にあたり、多くの寺院で涅槃会が行われ、堂内に涅槃図を掲げる。涅槃図は大型の仏画で、個人の依頼では調査に応じてもらうことはむずかしいため、この機会に京都の涅槃図の調査を行った。ただし京都は旧暦で涅槃会を行う寺院も多く、期間も各寺院によりまちまちで情報収集に手間取った。東福寺、泉涌寺、妙心寺、本法寺、高台寺など京都を代表する涅槃図を調査することが出来た。

▲東福寺の涅槃会

このほか京都国立博物館の事業、活動についても見学、利用して、常設展示や土曜講座など、運営や市民への対応を学んだ。

美術資料

■美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術				
				寄贈			
購入	寄贈	合計	購入	一般	本多コレクション	合計	総計
57件	125件	182件	25件	7件	319件	351件	533件

■近現代美術

購入

郷土作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-513	吉田　博	チューリンガム	1905	31.0×45.9	油彩・板	54000080
1-A-514	木下　新	ピラミッドと褶曲	1991	170.0×230.0×15.0	布	54006792
1-A-515	桒野　よう子	MIRROR	1996	242.4×94.5×5.0 242.0×94.7×5.0 242.5×94.3×5.0 242.3×94.3×5.1 242.2×94.4×5.1 242.0×94.3×5.0 242.2×94.5×5.0 242.1×94.4×4.9 (8点組)	油彩・布、板	54006795
1-A-532	田部　光子	0次元と京都大学	1995	58.5×73.5	コラージュ・紙	54006797
1-A-533	田部　光子	自然食品	1995	73.5×58.5	コラージュ・紙	54006798
1-A-534	田部　光子	スカイダイヴィング	1995	73.5×58.5	コラージュ・紙	54006799
1-A-535	吉田　ふじを	花(リズム)	1951	91.4×73.0	油彩・画布	54006787

郷土作家　日本画等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-197	水上　泰生	梅雨あけの頃	1922	156.0×351.5	絹本着色	54006786
1-B-198	水上　泰生	秋時雨の頃	1922頃	156.0×351.5	絹本着色	54006786

郷土作家　水彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-C-228	吉田　ふじを	ベニス	1906	51.3×35.6	水彩・紙	54006788
1-C-229	吉田　ふじを	[窓辺の花]	1907-16	50.5×68.4	水彩・紙	54006789
1-C-230	吉田　ふじを	埃及みやげ	1909	67.5×49.2	水彩・紙	54006790
1-C-231	吉田　ふじを	カトレア	不詳	69.4×50.0	水彩・紙	54006791

郷土作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-51	阿部　守	THE HIDE	1990-95	大) 60.2×60.2×70.0 小) 45.0×45.1×61.2	鉄	54006796
1-G-54	江上　計太	MOON KYTE	1999	202×578×47	アクリル、合板	54006793
1-G-55	江上　計太	Patrio-scud	2003 (1991着想)	380.0×207.8×188.3	アクリル、合板	54006794

日本作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-146	桑山　忠明	メタリックブラウンとグレー	1973	209.5×240.8	アクリル・画布、アルミニウム	54006785

日本作家　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1418	恩地　孝四郎	人体・少女	1925	18.0×12.7	木版・紙	54000076
2-E-1419	恩地　孝四郎	浴後	1926	23.5×16.1	木版・紙	54000077
2-E-1420	恩地　孝四郎	新東京百景創作版画 二重橋早春	1929	18.8×24.2	木版・紙	54000079
2-E-1421	恩地　孝四郎	顔	1929	17.9×23.7	木版・紙	54000078

日本作家　写真

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-F-399	榎倉　康二	予兆のためのコレクション No.29	1975	23.6×30.4	写真(ゼラチンシルバープリント)、木、ガラス	54001066
2-F-400	榎倉　康二	予兆のためのコレクション No.37	1975	23.7×30.7	写真(ゼラチンシルバープリント)、木、ガラス	54001067
2-F-401	榎倉　康二	予兆のためのコレクション No.40	1975	24.7×31.5	写真(ゼラチンシルバープリント)、木、ガラス	54001068
2-F-402	榎倉　康二	予兆のためのコレクション No.50	1975	24.1×30.9	写真(ゼラチンシルバープリント)、木、ガラス	54001069
2-F-403	榎倉　康二	予兆のためのコレクション No.57	1975	24.8×31.7	写真(ゼラチンシルバープリント)、木、ガラス	54001070

日本作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-G-32	榎倉　康二	予兆のためのコレクションー鉄	1975	(no.66)12.1×125.0×45.1 (no.67)10.9×120.0×48.0 (no.68)11.0×119.9×48.0 (no.69)10.7×119.8×48.2 (no.70)10.7×119.7×48.1	木、ガラス、鉄	54001065
2-G-35	戸谷　成雄	28の死 I	1989-90	248×434×62	木、灰、アクリル塗料、鉄	54006800

海外作家　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-E-664	ジョージ・グロス	神は共にあり(『神は共にあり』)	1919	30.0×44.4	リトグラフ・紙	54000075
3-E-665	ジョージ・グロス	ドイツ人は敗北し、ドイツ主義が勝利者となる／ドイツの権利、ドイツの道徳のために／“最前線に来たドイツ人”(『神は共にあり』)	1919	39.5×32.0	リトグラフ・紙	54000075
3-E-666	ジョージ・グロス	ミュンヘンのお告げの祈り／終業／“私は奉仕した”(『神は共にあり』)	1919	40.0×30.3	リトグラフ・紙	54000075
3-E-667	ジョージ・グロス	自由、平等、博愛／労働者の光と風／労働者の休日(『神は共にあり』)	1919	35.9×30.1	リトグラフ・紙	54000075
3-E-668	ジョージ・グロス	精密科学の勝利／加持祈祷師／閉塞と闘うドイツ人医師(『神は共にあり』)	1918	33.3×30.2	リトグラフ・紙	54000075
3-E-669	ジョージ・グロス	死の女衒(『神は共にあり』)	1919	39.8×30.8	リトグラフ・紙	54000075
3-E-670	ジョージ・グロス	朕は国家なり／完成された民主主義／“民主主義にとって安全にされた世界”(『神は共にあり』)	1919	45.5×30.8	リトグラフ・紙	54000075
3-E-671	ジョージ・グロス	飢餓を粉砕せよ！／共産主義者は倒れ、標語ばかりが声高に／血は最高のソース(『神は共にあり』)	1919	31.0×46.7	リトグラフ・紙	54000075

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-E-672	ジョージ・グロス	悪しき思いを抱く者に災いあれ／その件では誰も我々の真似はできない／"ドイツ製"(『神は共にあり』)	1919	29.1×26.1	リトグラフ・紙	54000075
3-E-673	マックス・ペヒシュタイン	<作品ケース表紙>(『我等の父』)	1921	24.6×29.6	木版・紙	54001052
3-E-674	マックス・ペヒシュタイン	<題扉>(『我等の父』)	1921	39.8×29.7	木版・紙	54001053
3-E-675	マックス・ペヒシュタイン	天にいます我等の父よ(『我等の父』)	1921	39.7×29.6	木版・紙	54001054
3-E-676	マックス・ペヒシュタイン	御名があがめられますように(『我等の父』)	1921	39.7×29.5	木版・紙	54001055
3-E-677	マックス・ペヒシュタイン	御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように(『我等の父』)	1921	39.9×29.7	木版・紙	54001056
3-E-678	マックス・ペヒシュタイン	私たちの日ごとの糧を今日もお与え下さい。(『我等の父』)	1921	39.8×29.4	木版・紙	54001057
3-E-679	マックス・ペヒシュタイン	私たちの負いめをお赦しください。(『我等の父』)	1921	39.8×29.6	木版・紙	54001058
3-E-680	マックス・ペヒシュタイン	私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。(『我等の父』)	1921	39.8×29.4	木版・紙	54000059
3-E-681	マックス・ペヒシュタイン	私たちを試みにあわせないで(『我等の父』)	1921	40.8×29.4	木版・紙	54001060
3-E-682	マックス・ペヒシュタイン	悪からお救いください。(『我等の父』)	1921	39.6×29.7	木版・紙	54001061
3-E-683	マックス・ペヒシュタイン	すなわち国と(『我等の父』)	1921	39.6×29.4	木版・紙	54001062
3-E-684	マックス・ペヒシュタイン	力と栄えは(『我等の父』)	1921	39.8×29.6	木版・紙	54001063
3-E-685	マックス・ペヒシュタイン	とこしえにあなたのものだからです。アーメン!(『我等の父』)	1921	39.8×29.6	木版・紙	54001064
3-E-686	オットー・ディックス	死と復活　No I(自殺者)	1922	34.8×28.0	エッチング・紙	54001071
3-E-687	オットー・ディックス	死と復活　No II(痴情殺人)	1922	28.0×34.6	エッチング・紙	54001072
3-E-688	オットー・ディックス	死と復活　No III(バリケード)	1922	28.0×34.7	エッチング・紙	54001073
3-E-689	オットー・ディックス	死と復活　No IV(身重)	1922	34.6×28.0	エッチング・紙	54001074
3-E-690	オットー・ディックス	死と復活　No V(死んだ兵士)	1922	28.0×34.6	エッチング・紙	54001075
3-E-691	オットー・ディックス	死と復活　No VI(葬送)	1922	27.9×34.6	エッチング・紙	54001076

海外作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-G-80	ヤーコプ・アガム	3つのエレメントからなるムーブメント	2001-02	126.0×84.0×82.0	ステンレス	54000074

寄　贈

郷土作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-537	片山　雅史	風のなる日のために '86	1986	109.3×74.6	顔料、アクリル、油性インク・紙	54013957
1-A-538	片山　雅史	風のなる日のために	1988-89	50.7×36.8	顔料、アクリル、油性インク・紙	54013958
1-A-539	片山　雅史	風のなる日のために	1988-89	50.7×37.2	顔料、アクリル、油性インク・紙	54013958
1-A-540	片山　雅史	風のなる日のために '90	1990	89.4×59.6	顔料、アクリル、油性インク・紙	54013959
1-A-541	片山　雅史	風のなる日のために '91(91-D)	1991	53.8×35.5	顔料、アクリル、油性インク・紙	54013960
1-A-542	片山　雅史	風のなる日のために '91(91-G)	1991	53.7×35.5	顔料、アクリル、油性インク・紙	54013961
1-A-543	片山　雅史	風のなる日のために '91 (91-0106)	1991	76.1×56.5	シルクスクリーン、顔料、アクリル、砂、ニス・紙	54013962
1-A-544	片山　雅史	風の系譜 '92-A	1992	83.8×59.9	シルクスクリーン、顔料、アクリル、ニス・紙	54013963

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-545	片山　雅史	風の系譜 '95	1995	76.5×56.8	顔料、アクリル・画布(紙に貼り付け)	54013964
1-A-547	磨墨　静量	題不詳	1960年代	18.0×26.2	油彩・板	54013969
1-A-548	磨墨　静量	三人	1973	28.3×22.3	油彩・板	54013970
1-A-549	磨墨　静量	題不詳	1986	28.4×22.1	油彩・画布	54013971
1-A-550	磨墨　静量	スペースにて	1994	27.5×22.1	油彩・画布	54013972
1-A-551	磨墨　静量	題不詳	不詳	52.5×45.6	油彩・画布	54013971
1-A-553	森山　安英	レンズの彼岸　十六	1999	162.3×194.3	油彩・画布	54013973

郷土作家　日本画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-199	橘　天敬	四方の海	1970	50.1×361.7	金泥・紙	54003309
1-B-201	冨田　溪仙	筥崎放生会	1904	25.5×87.6	絹本着色	54014040
1-B-202	冨田　溪仙	鶴	1904	各125.0×43.7	絹本着色	54014041

郷土作家　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-E-900	片山　雅史	風のなる日のために	1986	53.8×77.6	リトグラフ、砂・紙	54013965
1-E-901	片山　雅史	風のなる日のために '89-Ⅰ	1989	104.5×74.0	シルクスクリーン・紙	54013966
1-E-902	片山　雅史	風のなる日のために '89-Ⅱ	1989	76.1×56.7	シルクスクリーン・紙	54013967
1-E-903	片山　雅史	風のなる日のために(5点組の1/92-0201)	1992	76.5×57.0	シルクスクリーン・紙	54013968
1-E-904	片山　雅史	風のなる日のために(5点組の2/92-0202)	1992	76.0×57.0	シルクスクリーン・紙	54013968
1-E-905	片山　雅史	風のなる日のために(5点組の3/92-0203)	1992	75.7×57.0	シルクスクリーン・紙	54013968
1-E-906	片山　雅史	風のなる日のために(5点組の4/92-0204)	1992	76.0×57.2	シルクスクリーン・紙	54013968
1-E-907	片山　雅史	風のなる日のために(5点組の5/92-0205)	1992	76.1×56.7	シルクスクリーン・紙	54013968
1-E-924	集団蜘蛛	無題(吹き抜けの室内)春元茂人作	1968	25.6×35.0	エッチング・紙	54013974
1-E-925	集団蜘蛛	無題(階段)春元茂人作	1968	22.9×31.4	エッチング・紙	54013975
1-E-926	集団蜘蛛	無題(庭園風景)春元茂人作	1968	22.9×31.4	エッチング・紙	54013976
1-E-927	集団蜘蛛	無題(駅前風景)春元茂人作	1968	22.9×31.4	エッチング・紙	54013977
1-E-928	集団蜘蛛	集団蜘蛛ポートレート 森山安英(青)	1969	199.6×99.7	シルクスクリーン・紙	54013978
1-E-929	集団蜘蛛	集団蜘蛛ポートレート 春元茂人(オレンジ)	1969	199.9×100.5	シルクスクリーン・紙	54013979
1-E-930	集団蜘蛛	集団蜘蛛ポートレート 加藤勲(ピンク)	1969	199.8×100.5	シルクスクリーン・紙	54013981
1-E-931	集団蜘蛛	菊畑茂久馬原版に基づく盗作版画「菊畑茂久馬アルバム集」より(僧侶にかつがれて)	1969	42.3×31.9	オフセット・紙	54013982
1-E-932	集団蜘蛛	菊畑茂久馬原版に基づく盗作版画「菊畑茂久馬アルバム集」より(教会で交合する)	1969	42.4×31.9	オフセット・紙	54013982
1-E-933	集団蜘蛛	菊畑茂久馬原版に基づく盗作版画「菊畑茂久馬アルバム集」より(新郎新婦が旅先のホテルに)	1969	42.4×31.9	オフセット・紙	54013982
1-E-934	集団蜘蛛	菊畑茂久馬原版に基づく盗作版画「菊畑茂久馬アルバム集」より(寝室に入る新郎新婦に)	1969	42.4×31.8	オフセット・紙	54013982
1-E-935	浜田　知明	江上昭三氏年賀状のための作品	1975	12.0×11.3	エッチング・紙	54013987
1-E-936	斎藤　秀三郎	作品(グループ西日本2)	1961	28.1×22.0	木版・紙	54013988
1-E-937	尾崎　正義	作品(グループ西日本2)	1961	17.0×24.7	木版・紙	54013989
1-E-938	板井　栄雄	貌(グループ西日本2)	1961	30.0×20.5	木版・紙	54013990
1-E-939	磨墨　静量	スロー・モーション(グループ西日本2)	1961	22.0×24.5	木版・紙	54013991

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-E-940	十時　良	作品(グループ西日本2)	1961	15.6×22.4	木版・紙	54013992
1-E-941	十時　良	作品(グループ西日本2)	1961	15.1×22.4	木版・紙	54013992
1-E-942	磨墨　静量	ト・ロード(グループ西日本2)	1961	31.4×40.0	木版・紙	54013993
1-E-943	森川　豊子	作品(グループ西日本2)	1961	13.8×9.0	木版・紙	54013994
1-E-944	森川　豊子	作品(グループ西日本2)	1961	13.7×8.9	木版・紙	54013994
1-E-945	尾方　利夫	作品(グループ西日本2)	1961	18.9×26.9	孔版・紙	54013995

郷土作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-57	小田部　泰久	リンゴの女	1925	165.5×53.5×53.0	F.R.P.	54014453
1-G-58	原田　新八郎	会長太田清蔵翁之像	1975	64.0×60.0×44.4	ブロンズ	54014496

郷土作家　その他

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	素材・技法	備品受入番号
1-K-412	集団蜘蛛	<参考資料>菊畑茂久馬原版に基づく盗作版画「菊畑茂久馬アルバム集」より(32点)	1969	オフセット・紙	54013983
1-K-413	集団蜘蛛	<参考資料>集団蜘蛛ポートレート(12点)	1969	シルクスクリーン・紙	54013984
1-K-414	集団蜘蛛	<参考資料>NO ART no. 35 (5点)	1968	シルクスクリーン・紙	54013985

日本作家　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1462	上前　智祐	(題名なし)	1980	28.6×47.6	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1463	上前　智祐	(題名なし)	1980	34.4×51.6	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1464	上前　智祐	(題名なし)	1980	26.8×48.6	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1465	上前　智祐	(題名なし)	1980	42.5×52.8	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1466	上前　智祐	(題名なし)	1980	28.6×47.5	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1467	上前　智祐	(題名なし)	1980	34.3×55.8	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1468	上前　智祐	(題名なし)	1981	32.1×37.5	シルクスクリーン・紙	54013952
2-E-1469	上前　智祐	(題名なし)	1981	35.6×51.1	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1470	上前　智祐	(題名なし)	1981	53.8×32.9	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1471	上前　智祐	(題名なし)	1981	53.0×39.1	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1472	上前　智祐	(題名なし)	1981	53.8×32.9	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1473	上前　智祐	(題名なし)	2000	47.7×69.8	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1474	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.6×48.6	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1475	上前　智祐	(題名なし)	2000	47.8×69.9	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1476	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.5×48.7	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1477	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.5×48.3	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1478	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.5×47.2	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1479	上前　智祐	(題名なし)	2000	84.4×62.9	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1480	上前　智祐	(題名なし)	2000	88.8×65.1	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1481	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.4×51.0	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1482	上前　智祐	(題名なし)	2000	47.9×69.9	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1483	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.5×50.9	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1484	上前　智祐	(題名なし)	2000	69.5×51.0	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1485	上前　智祐	(題名なし)	2000	51.3×72.5	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1486	上前　智祐	(題名なし)	2000	51.4×72.3	シルクスクリーン・紙	54013954
2-E-1487	上前　智祐	(題名なし)	2000	61.1×82.4	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1488	上前　智祐	(題名なし)	2000	61.0×82.1	シルクスクリーン・紙	54013955

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1489	上前　智祐	(題名なし)	2000	51.0×72.1	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1490	上前　智祐	(題名なし)	2000	61.1×82.1	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1491	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.4×69.8	シルクスクリーン・紙	54013956
2-E-1492	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.8×70.2	シルクスクリーン・紙	54013956
2-E-1493	上前　智祐	(題名なし)	2000	71.0×103.8	シルクスクリーン・紙	54013956
2-E-1494	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.9×70.0	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1495	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.3×69.9	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1496	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.8×70.0	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1497	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.9×70.2	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1498	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.8×69.2	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1499	上前　智祐	(題名なし)	2000	99.8×70.1	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1500	上前　智祐	(題名なし)	2000	70.7×87.7	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1501	上前　智祐	(題名なし)	2000	70.2×99.8	シルクスクリーン・紙	54013955
2-E-1502	上前　智祐	(題名なし)	2000	100.0×70.1	シルクスクリーン・紙	54013956
2-E-1503	上前　智祐	(題名なし)	2001	43.5×29.8	銅版・紙	54013953
2-E-1504	上前　智祐	(題名なし)	2001	51.5×35.9	銅版・紙	54013953
2-E-1505	上前　智祐	(題名なし)	2001	51.7×35.8	銅版・紙	54013953
2-E-1506	上前　智祐	(題名なし)	2001	51.5×35.6	銅版・紙	54013953
2-E-1507	上前　智祐	(題名なし)	2001	43.7×29.5	銅版・紙	54013953
2-E-1508	上前　智祐	(題名なし)	2001	43.5×29.5	銅版・紙	54013953
2-E-1509	上前　智祐	(題名なし)	2001	29.5×43.6	銅版・紙	54013953
2-E-1510	上前　智祐	(題名なし)	2001	29.4×43.5	銅版・紙	54013953
2-E-1511	上前　智祐	(題名なし)	2001	35.6×24.6	銅版・紙	54013952
2-E-1512	上前　智祐	(題名なし)	2001	43.6×29.7	銅版・紙	54013953
2-E-1513	上前　智祐	(題名なし)	2001	43.5×29.6	銅版・紙	54013953
2-E-1514	上前　智祐	(題名なし)	2001	52.7×35.7	銅版・紙	54013953
2-E-1515	上前　智祐	(題名なし)	2001	52.8×35.7	銅版・紙	54013953
2-E-1516	上前　智祐	(題名なし)	2001	60.0×41.0	銅版・紙	54013953
2-E-1517	上前　智祐	(題名なし)	2001	60.0×40.9	銅版・紙	54013953
2-E-1518	上前　智祐	(題名なし)	2001	59.9×41.0	銅版・紙	54013953
2-E-1519	上前　智祐	(題名なし)	2001	59.9×40.8	銅版・紙	54013953
2-E-1520	上前　智祐	(題名なし)	2001	49.1×69.9	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1521	上前　智祐	(題名なし)	2001	69.9×48.1	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1522	上前　智祐	(題名なし)	2001	56.6×47.7	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1523	上前　智祐	(題名なし)	2001	57.0×49.8	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1524	上前　智祐	(題名なし)	2001	48.2×69.5	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1525	上前　智祐	(題名なし)	2001	51.2×70.5	シルクスクリーン・紙	54013953
2-E-1526	上前　智祐	(題名なし)	2002	78.6×53.9	銅版・紙	54013953
2-E-1527	上前　智祐	(題名なし)	2002	71.5×52.8	銅版・紙	54013953
2-E-1528	上前　智祐	(題名なし)	2002	78.5×54.0	銅版・紙	54013953
2-E-1529	上前　智祐	(題名なし)	2002	78.5×53.8	銅版・紙	54013953
2-E-1530	上前　智祐	(題名なし)	2002	78.6×54.0	銅版・紙	54013953
2-E-1531	上前　智祐	(題名なし)	2002	78.9×54.0	銅版・紙	54013953
2-E-1532	上前　智祐	(題名なし)	2003	78.7×53.9	銅版・紙	54013953
2-E-1533	上前　智祐	(題名なし)	2003	72.0×52.8	銅版・紙	54013953

▲マックス・ペヒシュタイン
《天にいます我らの父よ》1921年

▲冨田溪仙《筥崎放生会》1904年

■古美術

購　入

黒田資料　絵画

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
4-B-12	張果老・花鳥図	狩野探幽	1674	縦107.3 横47.1	絹本墨画淡彩	54009436
4-B-15	人麿・須磨・明石図	狩野安信	江戸時代	縦109.3 横48.7	絹本墨画淡彩	54009437
4-B-16	瑞亀図	狩野常信	江戸時代	縦95.3 横168.4	絹本墨画淡彩	54009438
4-B-17	寿老人・竹・松図	狩野常信	江戸時代	縦109.6 横39.9	紙本墨画	54009440
4-B-19	布袋・松鳩・尾長鳥図	狩野常信	江戸時代	縦110.6 横42.3	紙本墨画	54009439
4-B-82	犬追物遊猟図巻	不詳	江戸時代	縦41.8 長さ270.1	絹本着色	54009441
4-B-176	猿図	森狙仙	江戸時代	縦95.4 横35.2	絹本着色	54009442

黒田資料　陶磁器

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
4-Ha-7	唐物大海茶入　銘「横雲」		明時代	高さ7.6 胴径10.5	陶器	54003343
4-Ha-9	島物耳付茶入		16-17世紀	高さ9.7 胴径7.4	陶器	54003347
4-Ha-10	瀬戸後窯茶入　銘「源十郎」		桃山～江戸時代	高さ9.2 胴径6.1	陶器	54003345
4-Ha-11	薩摩肩衝茶入　銘「九重」	薩摩焼	江戸時代前期	高さ8.5 胴径5.2	陶器	54003346
4-Ha-13	瀬戸後窯茶入　銘「道味」		桃山時代	高さ9.1 胴径5.4	陶器	54003344

黒田資料　漆工

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
4-Hb-21	牡丹文蒔絵太鼓	狩野探幽、狩野永真、狩野洞雲	元禄四年 1691	高さ14.7 胴径25.9	木胎漆塗(桐)	54009448
4-Hb-198	田植図蒔絵螺鈿料紙箱・硯箱		江戸時代前期	料紙箱:縦40.3 横31.6 高さ14.2 硯　箱:縦23.6 横21.1 高さ4.6	木胎漆塗	54009449

一般古美術資料　絵画

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-B-29	観音図	木村貞綱(徳栄)	江戸時代	縦106.8　横38.4	絹本着色	54003387

一般古美術資料　陶磁器

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-138	斑釉透文手付台鉢	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代	最大径26.1 高さ20.0	陶器	54003382
14-Ha-140	斑釉印花竹笹文水指	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代	高さ17.7 胴径17.2	陶製施釉	54003388
14-Ha-141	掛分結文形足付向付	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代	高さ4.2 最大幅19.1	陶製施釉	54003389
14-Ha-143	褐釉耳付三足水指　共蓋	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代	高さ17.7 胴径19.5	陶製施釉	54003390

一般古美術資料　染織

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Hd-285	菱格子文様緯紋織	インド	18-19世紀	経311.3 緯97.9	絹、金糸	54003384
14-Hd-286	鋸歯文様緯絣	カンボジア	20世紀初頭	経206.5 緯107.6	絹	54003385
14-Hd-287	草花幾何学文様絞	カンボジア	20世紀	経191 緯77.5	絹	54003386

一般古美術資料　その他

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Hf-4	風炉先屏風	田中親美	現代	横92.5 高さ34.8	紙本着色	54003383
14-Hf-5	木地炉縁	伝・久以	江戸時代	幅42.4 高さ6.5	木	54003391
14-Hf-7	鶴羽帚	不詳	江戸時代	(各)長さ25.0 幅5.0	羽根、竹皮	54003392

寄　贈

一般古美術資料　陶磁器

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-154	色絵樹下双鳥文皿(古九谷様式)	有田焼	江戸時代前期	径23.1 高さ3.5	磁器	54008661
14-Ha-155	掛分六角小皿	高取焼(白旗山窯)	江戸時代前期	最大幅8.5 高さ1.6	陶器	54008662
14-Ha-156	褐釉撫四方三足向付	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代初期	最大幅15.0 高さ5.4	陶器	54008663
14-Ha-157	鉄絵飛鳥文盤	タイ・カロン窯	14-16世紀	径19.4 高さ4.4	陶器	54008664
14-Ha-158	鉄絵花唐草文合子	タイ・シーサッチャナライ窯	14-16世紀	高さ7.5 径9.3	陶器	54008665
14-Ha-159	褐釉四耳壺(蓮華王印)		明時代	高さ38.0 胴径34.2	陶器	54008666

一般古美術資料　漆工

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Hb-45	屈輪盆		明時代	径14.5 高さ1.8 底径11.5	木胎堆朱彫漆	54008667

本多コレクション　陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-438	唐子形線香立て	中国	16-17世紀	高さ13.1 底径3.9	54013432
17-Ha-439	子守形置物	中国	16-17世紀	高さ12.8 底径4.3	54013433
17-Ha-440	騎牛唐子形水滴	中国	16-17世紀	高さ7.5 長さ12.0	54013434
17-Ha-441	騎牛唐子形水滴	中国	16-17世紀	高さ7.3 長さ12.2	54013434
17-Ha-442	犬形水滴	中国	16-17世紀	高さ8.5 底径4.0	54013435
17-Ha-443	小牛に猿形置物	中国	16-17世紀	高さ5.6 幅9.7	54013436
17-Ha-444	猿形水滴	中国	16-17世紀	高さ5.4 底径3.1	54013437
17-Ha-445	桃猿形水滴	中国	16-17世紀	高さ9.7 底径4.4	54013438
17-Ha-446	桃持猿形水注	中国	16-17世紀	高さ15.5 底径6.2	54013439
17-Ha-447	瓜に栗鼠形水滴	中国	16-17世紀	高さ5.6 幅6.1	54013440
17-Ha-448	亀形合子	中国	16-17世紀	高さ3.8 長さ6.8	54013441
17-Ha-449	大亀形合子	中国	16-17世紀	高さ5.2 長さ8.9	54013442
17-Ha-450	大亀形合子(蓋のみ,身欠失)	中国	16-17世紀	蓋高3.5 長さ10.0	54013443
17-Ha-451	交趾大亀合子(身のみ)	中国	16-17世紀	長さ8.6	54013444
17-Ha-452	銭亀形合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径5.3	54013445
17-Ha-453	見返り銭亀形合子	中国	16-17世紀	高さ3.7 径5.2	54013446
17-Ha-454	銭亀形惣白檀合子	中国	16-17世紀	高さ3.3 径5.2	54013447
17-Ha-455	銭亀形合子	中国	16-17世紀	高さ6.1 径5.2	54013445
17-Ha-456	小判亀形合子	中国	16-17世紀	高さ3.5 径5.1	54013448
17-Ha-457	銭亀分銅形合子	中国	16-17世紀	高さ4.1 長さ6.3	54013449
17-Ha-458	大亀水注	中国	16-17世紀	高さ15.4 長さ22.6	54013450
17-Ha-459	獅子形合子	中国	16-17世紀	高さ5.8 長さ7.2	54013451
17-Ha-460	獅子形合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 長径7.0	54013452

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-461	獅子形合子	中国	16-17世紀	高さ5.1 長径7.1	54013453
17-Ha-462	珠取獅子文合子	中国	16-17世紀	高さ4.0 径7.2	54013454
17-Ha-463	珠取獅子文合子	中国	16-17世紀	高さ4.5 径7.0	54013454
17-Ha-464	麒麟文合子	中国	16-17世紀	高さ5.1 径9.3	54013455
17-Ha-465	飛龍形合子	中国	16-17世紀	高さ5.0 長径7.8	54013456
17-Ha-466	龍形合子	中国	16-17世紀	高さ5.5 長径7.3	54013457
17-Ha-467	雲龍文合子	中国	16-17世紀	高さ4.4 径8.0	54013458
17-Ha-468	雲龍文合子	中国	16-17世紀	高さ3.8 径8.0	54013459
17-Ha-469	珠取双龍文合子	中国	16-17世紀	高さ4.4 径8.0	54013466
17-Ha-470	珠取双龍文合子	中国	16-17世紀	高さ4.0 径6.2	54013466
17-Ha-471	珠取龍文木瓜形合子	中国	16-17世紀	高さ3.5 長径6.8	54013467
17-Ha-472	珠取龍文木瓜形合子	中国	16-17世紀	高さ3.4 長径6.4	54013468
17-Ha-473	双龍文小判形合子	中国	16-17世紀	高さ4.2 長径11.3	54013469
17-Ha-474	鴨形合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 長径5.3	54013470
17-Ha-475	鴨形合子	中国	16-17世紀	高さ4.3 長径6.0	54013471
17-Ha-476	鴨形合子	中国	16-17世紀	高さ4.3 径5.9	54013472
17-Ha-477	見返り鴨形合子	中国	16-17世紀	高さ4.2 長径5.6	54013473
17-Ha-478	インコ形水滴	中国	16-17世紀	高さ6.6 長さ8.0 幅4.8	54013474
17-Ha-479	インコ形合子	中国	16-17世紀	高さ5.2 長さ6.5	54013475
17-Ha-480	インコ形合子	中国	16-17世紀	高さ6.0 長さ7.4 幅4.6	54013475
17-Ha-481	金花鳥文合子	中国	16-17世紀	高さ4.5 径7.2	54013476
17-Ha-482	鳥形水滴	中国	16-17世紀	高さ6.0 長さ7.8 幅3.9	54013477
17-Ha-483	双鳥形水滴	中国	16-17世紀	高さ7.8 径7.6 幅6.0	54013478
17-Ha-484	桃に鸚鵡形水滴	中国	16-17世紀	高さ8.7 底径4.6	54013479
17-Ha-485	鶏形水滴	中国	16-17世紀	高さ8.9 底径4.0	54013480
17-Ha-486	インコ菊花形合子	中国	16-17世紀	高さ8.8 径6.6	54013481
17-Ha-487	鳥形置物	中国	16-17世紀	高さ9.7 底径3.7	54013482
17-Ha-488	鳥形水滴	中国	16-17世紀	高さ7.6 径10.5	54013483
17-Ha-489	鳥形水注	中国	16-17世紀	高さ14.6 長さ20.0	54013484
17-Ha-490	鹿文合子	中国	16-17世紀	高さ4.8 径5.9	54013485
17-Ha-491	兎文合子	中国	16-17世紀	高さ5.3 径8.6	54013486
17-Ha-492	菊蟹文合子	中国	16-17世紀	高さ4.2 径7.4	54013487
17-Ha-493	火炎馬文合子	中国	16-17世紀	高さ4.2 径7.3	54013488
17-Ha-494	火炎馬文合子	中国	16-17世紀	高さ4.7 径6.8	54013489
17-Ha-495	蛙形合子	中国	16-17世紀	高さ4.1 径4.5	54013490
17-Ha-496	蛙形合子	中国	16-17世紀	高さ4.4 長径5.1	54013491
17-Ha-497	荒磯文合子	中国	16-17世紀	高さ7.0 径7.7	54013492
17-Ha-498	荒磯文合子	中国	16-17世紀	高さ4.3 径7.4	54013492
17-Ha-499	荒磯文合子	中国	16-17世紀	高さ5.0 径8.1	54013493
17-Ha-500	荒磯文合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径6.1	54013493
17-Ha-501	荒磯文足付合子	中国	16-17世紀	高さ4.4 長径6.7	54013499
17-Ha-502	磯の子文合子	中国	16-17世紀	高さ4.8 径6.5	54013500
17-Ha-503	桜鯉文合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 径5.8	54013501
17-Ha-504	桜鯉文合子	中国	16-17世紀	高さ4.8 径5.0	54013502
17-Ha-505	荒磯形水滴	中国	16-17世紀	高さ7.1 長さ9.0	54013503
17-Ha-506	魚形水滴	中国	16-17世紀	高さ5.1 長さ11.5	54013504
17-Ha-507	荒磯形水滴	中国	16-17世紀	高さ11.0 底径6.2	54013505
17-Ha-508	荒磯形水滴	中国	16-17世紀	高さ10.5 底径5.8	54013506

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-509	蟹形合子	中国	16-17世紀	高さ5.1 径8.0	54013507
17-Ha-510	蟹文合子	中国	16-17世紀	高さ5.0 径8.0	54013508
17-Ha-511	菊蟹文合子	中国	16-17世紀	高さ4.2 径7.6	54013509
17-Ha-512	小判蟹形合子	中国	16-17世紀	高さ3.5 長径5.5	54013510
17-Ha-513	蝦形合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 長径6.0	54013511
17-Ha-514	蝦形水滴	中国	16-17世紀	高さ10.2 長さ12.5	54013512
17-Ha-515	蓮華文合子	中国	16-17世紀	高さ4.7 径7.3	54013513
17-Ha-516	大牡丹文合子	中国	16-17世紀	高さ5.1 径7.8	54013514
17-Ha-517	牡丹文合子	中国	16-17世紀	高さ3.9 径5.8	54013515
17-Ha-518	菊梅文合子	中国	16-17世紀	高さ2.8 径5.3	54013516
17-Ha-519	菊梅文合子	中国	16-17世紀	高さ2.9 径5.2	54013516
17-Ha-520	橘文合子	中国	16-17世紀	高さ4.0 径7.3	54013517
17-Ha-521	阿古陀形小壺	中国	16-17世紀	高さ3.6 径5.3	54013518
17-Ha-522	玉取龍文阿古陀形合子	中国	16-17世紀	高さ3.4 口径5.1	54013519
17-Ha-523	牡丹文阿古陀形大合子	中国	16-17世紀	高さ5.5 径7.8	54013520
17-Ha-524	菊文阿古陀形大合子	中国	16-17世紀	高さ4.8 径8.1	54013521
17-Ha-525	阿古陀形合子	中国	16-17世紀	高さ4.3 径6.0	54013522
17-Ha-526	阿古陀形大合子	中国	16-17世紀	高さ6.5 径10.3	54013523
17-Ha-527	菊文阿古陀形合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 径7.3	54013524
17-Ha-528	菊文瓜形合子	中国	16-17世紀	高さ6.0 径6.3	54013525
17-Ha-529	蜜柑形小壺	中国	16-17世紀	高さ4.2 胴径6.6	54013526
17-Ha-530	桃形合子	中国	16-17世紀	高さ5.0 長径7.7	54013530
17-Ha-531	菊文大合子	中国	16-17世紀	高さ6.0 径9.7	54013531
17-Ha-532	菊橘文大合子(「大明年造」銘)	中国	16-17世紀	高さ5.8 径9.6	54013532
17-Ha-533	菊花形合子	中国	16-17世紀	高さ4.3 径6.1	54013533
17-Ha-534	菊花形合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径5.4	54013533
17-Ha-535	菊花形小合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径4.8	54013534
17-Ha-536	松毬形合子	中国	16-17世紀	高さ4.0 径4.8	54013535
17-Ha-537	蕗薹形合子	中国	16-17世紀	高さ4.5 径4.4	54013536
17-Ha-538	竹節形合子	中国	16-17世紀	高さ5.0 径8.1	54013537
17-Ha-539	寿字文合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径6.7	54013538
17-Ha-540	具足櫃形小壺	中国	16-17世紀	高さ4.6 幅5.6	54013539
17-Ha-541	具足櫃形小壺	中国	16-17世紀	高さ4.6 径5.6	54013540
17-Ha-542	食籠形合子	中国	16-17世紀	高さ5.5 径7.1	54013541
17-Ha-543	蛙摘み八角合子	中国	16-17世紀	高さ7.1 径7.4	54013542
17-Ha-544	七宝繋文丸合子	中国	16-17世紀	高さ4.7 径6.3	54013543
17-Ha-545	七宝繋文合子	中国	16-17世紀	高さ4.1 径5.8	54013544
17-Ha-546	阿古陀形小壺	中国	16-17世紀	高さ5.4 径5.8	54013545
17-Ha-547	瓜形蓋付小壺	中国	16-17世紀	高さ10.9 径8.9	54013546
17-Ha-548	刻花梅菊文合子	中国	16-17世紀	高さ7.6 径7.5	54013547
17-Ha-549	刻花梅菊文合子	中国	16-17世紀	高さ4.1 径7.8	54013548
17-Ha-550	刻花柘榴桃文合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 径7.9	54013549
17-Ha-551	刻花雲文平合子	中国	16-17世紀	高さ3.4 径6.6	54013550
17-Ha-552	刻花花卉文小壺	中国	16-17世紀	高さ6.5 胴径8.4	54013551
17-Ha-553	刻花瓔珞文小壺	中国	16-17世紀	高さ5.8 胴径6.8	54013552
17-Ha-554	刻花蓮華文蓋付小壺	中国	16-17世紀	高さ7.5 径7.9	54013553
17-Ha-555	刻花蓮池水禽文皿	中国	16-17世紀	高さ3.1 径17.2	54013554
17-Ha-556	法花柘榴文小壺	中国	16-17世紀	高さ8.5 胴径7.6	54013555

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-557	獅子摘み鼎形香炉	中国	16-17世紀	高さ15.2 最大径10.2	54013556
17-Ha-558	山形水滴	中国	16-17世紀	高さ7.2 幅8.5	54013557
17-Ha-559	太鼓形置物	中国	16-17世紀	高さ6.6 径7.7	54013564
17-Ha-560	蓮葉形水注	中国	16-17世紀	高さ6.2 口径8.6	54013565
17-Ha-561	緑釉鉢	中国	16-17世紀	高さ8.3 口径21.3	54013566
17-Ha-562	緑釉ケンディ	中国	16-17世紀	高さ21.5 胴径15.4	54013567
17-Ha-563	呉須餅花手合子	中国	16-17世紀	高さ4.7 径6.0	54013568
17-Ha-564	瑠璃釉合子	中国	16-17世紀	高さ3.7 径6.3	54013569
17-Ha-565	青花人物文合子	中国	16-17世紀	高さ3.2 径4.7	54013570
17-Ha-566	青花水禽文合子	中国	16-17世紀	高さ4.1 径5.9	54013571
17-Ha-567	青花双龍文合子	中国	16-17世紀	高さ4.2 径5.5	54013572
17-Ha-568	青花蛙文合子	中国	16-17世紀	高さ5.3 径6.1	54013573
17-Ha-569	青花荒磯文合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 径7.7	54013574
17-Ha-570	青花麒麟文合子	中国	16-17世紀	高さ4.9 径6.5	54013575
17-Ha-571	青花水禽文合子	中国	16-17世紀	高さ3.1 径5.4	54013576
17-Ha-572	青花花散らし文合子	中国	16-17世紀	高さ3.8 径5.0	54013577
17-Ha-573	青花菊唐草文合子	中国	16-17世紀	高さ5.3 径6.7	54013578
17-Ha-574	青花松毬合子	中国	16-17世紀	高さ4.6 径5.3	54013579
17-Ha-575	青花菊唐草文合子	中国	16-17世紀	高さ4.9 径6.2	54013596
17-Ha-576	青花花結び文合子	中国	16-17世紀	高さ4.0 径5.1	54013580
17-Ha-577	安南青花花文合子	中国	16-17世紀	高さ3.5 径3.2	54013581
17-Ha-578	青花菊鷺文合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径4.9	54013582
17-Ha-579	青花菊鷺文合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径4.6	54013582
17-Ha-580	青花見返り兎文合子	中国	16-17世紀	高さ3.5 径5.2	54013583
17-Ha-581	青花唐子文合子	中国	16-17世紀	高さ3.2 径4.7	54013584
17-Ha-582	青花火炎馬文合子	中国	16-17世紀	高さ4.3 径7.9	54013585
17-Ha-583	白磁梅文合子	中国	16-17世紀	高さ6.0 径7.4	54013586
17-Ha-584	白磁菊文合子	中国	16-17世紀	高さ3.6 径6.8	54013587
17-Ha-585	青花兎文八角合子	中国	16-17世紀	高さ6.3 径9.7	54013588
17-Ha-586	青花蟹文八角合子	中国	16-17世紀	高さ6.0 径9.0	54013589
17-Ha-587	青花花文六角合子	中国	16-17世紀	高さ3.0 径5.8	54013590
17-Ha-588	青花芭蕉文木瓜形合子	中国	16-17世紀	高さ2.6 長径7.2	54013591
17-Ha-589	青花花文角合子	中国	16-17世紀	高さ2.1 径3.9×3.9	54013597
17-Ha-590	青花人物文角合子	中国	16-17世紀	高さ2.6 径4.7×4.7	54013598
17-Ha-591	青花花文合子	中国	16-17世紀	高さ6.7 径8.3	54013599
17-Ha-592	青花花文小壺	中国	16-17世紀	高さ5.3 径4.0	54013600
17-Ha-593	呉須鹿文小壺	中国	16-17世紀	高さ4.5	54013601
17-Ha-594	呉須赤絵花文角合子	中国	16-17世紀	高さ5.1 径6.0	54013602
17-Ha-595	呉須赤絵菊花文合子	中国	15-16世紀	高さ4.0 径5.4	54013603
17-Ha-596	褐釉広口小壺	中国	14-16世紀	高さ6.2 口径8.2	54013604
17-Ha-597	褐釉信実印文四耳壺	中国	15-16世紀	高さ36.6 胴径32.6	54013605
17-Ha-598	黄釉菊文四耳壺	中国	15-16世紀	高さ39.0 胴径37.0	54013606
17-Ha-599	黒釉四耳壺	中国	14-16世紀	高さ37.7 胴径32.6	54013607
17-Ha-600	黄褐釉四耳壺	中国	14-16世紀	高さ35.5 胴径30.3	54013608
17-Ha-601	黄褐釉陽刻双龍文四耳壺	中国	15-17世紀	高さ31.3 胴径27.6	54013609
17-Ha-602	黄釉三耳壺	中国	15-16世紀	高さ18.1 胴径15.1	54013610
17-Ha-603	褐釉畳座内黄釉茶入	中国	14-16世紀	高さ7.4 胴径9.0	54013611
17-Ha-604	内褐釉畳座茶入	中国	14-16世紀	高さ5.7 胴径6.7	54013612

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-605	褐釉畳座文広口茶入	中国	14-16世紀	高さ5.7 胴径7.9	54013613
17-Ha-606	褐釉細口小壺(肩衝茶入)	中国	14-16世紀	高さ6.8 胴径4.5	54013614
17-Ha-607	褐釉水滴形小壺	中国	16-18世紀	高さ8.0	54013615
17-Ha-608	褐釉櫛目文壺	中国	14-17世紀	高さ17.8 胴径19.5	54013616
17-Ha-609	褐釉四耳壺	中国	14-16世紀	高さ22.3	54013617
17-Ha-610	焼締四耳壺	中国	14-16世紀	高さ20.1	54013618
17-Ha-611	焼締四耳壺	中国	14-16世紀	高さ21.6	54013618
17-Ha-612	焼締四耳壺	中国	14-16世紀	高さ27.5	54013618
17-Ha-613	焼締四耳壺	中国	14-16世紀	高さ27.3	54013618
17-Ha-614	褐釉四耳壺	中国	14-16世紀	高さ23.0	54013619
17-Ha-615	焼締胴長壺	中国	14-16世紀	高さ21.6	54013620
17-Ha-616	粽形褐釉壺	中国	14-16世紀	高さ18.6	54013621
17-Ha-617	粽形焼締壺	中国	14-16世紀	高さ18.4	54013622
17-Ha-618	褐釉壺	中国	14-16世紀	高さ19.8	54013623
17-Ha-619	焼締粽形壺(口歪み)	中国	14-16世紀	高さ18.9	54013624
17-Ha-620	焼締切溜形壺	中国	14-16世紀	高さ25.5	54013625
17-Ha-621	焼締細口壺	中国	14-16世紀	高さ19.3	54013626
17-Ha-622	無釉擂鉢	中国	13-15世紀	高さ8.5 口径20.5	54013627
17-Ha-623	褐釉深鉢	中国	14-16世紀	高さ9.0 口径21.5	54013628
17-Ha-624	内褐釉鉢	中国	13-16世紀	高さ8.1 口径20.0	54013629
17-Ha-625	白釉緑斑阿古陀形瓶	ベトナム	13-14世紀	高さ13.3 胴径10.9	54013630
17-Ha-626	黄白釉蓮弁文蓋付壺	ベトナム	12-13世紀	総高23.5 胴径19.8	54013631
17-Ha-627	白釉畳座深鉢	ベトナム	13-14世紀	高さ7.4 口径17.3	54013632
17-Ha-628	白磁鎬蓮弁文擂座鉢	ベトナム	13-14世紀	高さ15.7 口径15.5	54013633
17-Ha-629	白磁印花花文碗	ベトナム	13-14世紀	高さ6.7 口径12.8	54013634
17-Ha-630	白磁鎬文茶碗	ベトナム	13-14世紀	高さ6.5 口径15.2	54013635
17-Ha-631	青花唐草文碗	ベトナム	16世紀	高さ7.3 口径12.4	54013636
17-Ha-632	青花蓮華唐草文碗(絞手)	ベトナム	16世紀	高さ7.8 口径11.4	54013637
17-Ha-633	青花蓮華唐草文碗(絞手)	ベトナム	16世紀	高さ7.8 口径11.7	54013637
17-Ha-634	青花菊唐草文碗	ベトナム	16世紀	高さ9.5 口径13.0	54013638
17-Ha-635	青花菊唐草文碗	ベトナム	16世紀	高さ8.5 口径13.9	54013638
17-Ha-636	青花唐草文碗	ベトナム	16世紀	高さ7.6 口径11.5	54013639
17-Ha-637	青花碗	ベトナム	16世紀	高さ10.2 口径13.8	54013640
17-Ha-638	青花碗	ベトナム	16世紀	高さ8.4 口径11.6	54013640
17-Ha-639	青花碗	ベトナム	16世紀	高さ9.1 口径14.5	54013641
17-Ha-640	青花馬上杯	ベトナム	15世紀	高さ12.8 口径13.7	54013642
17-Ha-641	褐釉内青花文碗	ベトナム	16世紀	高さ6.7 口径14.9	54013643
17-Ha-642	褐釉高脚鉢	ベトナム	14世紀	高さ6.8 口径12.3	54013644
17-Ha-643	青花蓮弁文大合子	ベトナム	15-16世紀	高さ8.4 径15.9	54013645
17-Ha-644	青花鳥文合子	ベトナム	15-16世紀	高さ4.0 径5.2	54013646
17-Ha-645	青花蓮華文合子	ベトナム	15世紀	高さ4.4 径6.2	54013647
17-Ha-646	青花鳥文角合子	ベトナム	15-16世紀	高さ3.7 径4.9	54013648
17-Ha-647	青花山水文合子	ベトナム	15世紀	高さ6.0 径8.7	54013649
17-Ha-648	青花花文合子	ベトナム	15世紀	高さ3.2 径6.7	54013650
17-Ha-649	青花鳥文合子	ベトナム	15世紀	高さ4.3 径5.5	54013651
17-Ha-650	五彩碗	ベトナム	15-16世紀	高さ7.2 口径13.3	54013660
17-Ha-651	五彩花文合子	ベトナム	15-16世紀	高さ4.5 径6.7	54013661
17-Ha-652	緑釉花文壺	ベトナム	14-15世紀	高さ5.5 胴径7.3	54013662

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-653	緑釉筒形碗	ベトナム	14-15世紀	高さ9.1 口径10.8	54013663
17-Ha-654	黄釉広口壺	ベトナム	16-17世紀	高さ13.6 胴径16.4	54013664
17-Ha-655	黄釉刻花牡丹唐草文四耳壺	ベトナム	15-16世紀	高さ35.8 胴径32.0	54013665
17-Ha-656	青磁刻花花文輪花鉢	タイ	14-15世紀	高さ5.8 口径25.6	54013666
17-Ha-657	青磁刻花蓮華文鉢	タイ	14-15世紀	高さ9.3 口径16.5	54013667
17-Ha-658	青磁鎬文碗	タイ	14-15世紀	高さ7.2 口径14.3	54013668
17-Ha-659	青磁鎬文碗	タイ	14-15世紀	高さ6.3 口径11.4	54013668
17-Ha-660	青磁刻花蓮華文碗	タイ	14-15世紀	高さ6.8 口径13.3	54013669
17-Ha-661	鉄絵唐草文碗	タイ	14-15世紀	高さ6.1 口径11.6	54013670
17-Ha-662	鉄絵巻貝唐草文碗	タイ	15-16世紀	高さ6.9 口径15.0	54013671
17-Ha-663	白褐釉刻花やご文蓋付壺	タイ	14-15世紀	総高14.7 胴径11.3	54013672
17-Ha-664	鉄絵刻花花文合子	タイ	14-15世紀	高さ9.9 径11.8	54013673
17-Ha-665	刻花唐草文合子	タイ	15-16世紀	高さ4.8 径6.4	54013674
17-Ha-666	鉄絵花文面取大合子	タイ	15-16世紀	高さ10.0 径13.5	54013675
17-Ha-667	鉄絵柿合子	タイ	15-16世紀	高さ4.9 径6.2	54013676
17-Ha-668	鉄絵柿合子	タイ	15-16世紀	高さ5.3 径6.3	54013676
17-Ha-669	鉄絵柿合子	タイ	15-16世紀	高さ6.0 径6.3	54013677
17-Ha-670	鉄絵花文合子	タイ	15-16世紀	高さ4.9 径5.8	54013678
17-Ha-671	鉄絵花文合子	タイ	15-16世紀	高さ5.0 径5.7	54013679
17-Ha-672	鉄絵花文大合子	タイ	15-16世紀	高さ11.1 径11.9	54013680
17-Ha-673	鉄絵魚鱗文小壺	タイ	15-16世紀	高さ5.2 胴径8.0	54013681
17-Ha-674	鉄絵草文小壺	タイ	15-16世紀	高さ6.0 胴径9.0	54013682
17-Ha-675	黒褐釉草花文合子	タイ	15-16世紀	高さ3.1 径6.0	54013683
17-Ha-676	灰釉碗	タイ	14-15世紀	高さ5.8 口径12.2	54013684
17-Ha-677	白釉高脚鉢	タイ	14-15世紀	高さ7.4 口径11.3	54013685
17-Ha-678	黒釉広口壺	タイ	15-16世紀	高さ15.1 口径19.5	54013686
17-Ha-679	トチン	タイ	15-16世紀	高さ26.7	54013687
17-Ha-680	鉄絵法輪文碗	タイ	14-15世紀	高さ7.0 口径14.6	54013693
17-Ha-681	鉄絵法輪文鉢	タイ	14-15世紀	高さ8.0 口径20.5	54013694
17-Ha-682	鉄絵花文碗	タイ	15-16世紀	高さ5.5 口径11.6	54013695
17-Ha-683	鉄絵花文碗	タイ	14-15世紀	高さ7.0 口径14.0	54013696
17-Ha-684	鉄絵茶碗	タイ	15-16世紀	高さ6.5 口径14.8	54013697
17-Ha-685	鉄絵耳付瓶	タイ	15-16世紀	高さ8.0 胴径11.1	54013698
17-Ha-686	焼締壺	タイ	13-14世紀	高さ31.0 胴径26.7	54013699
17-Ha-687	焼締小瓶	タイ	13-14世紀	高さ10.4 胴径8.7	54013700
17-Ha-688	青磁輪花鉢	タイ	14-15世紀	高さ5.0 口径23.4	54013701
17-Ha-689	灰釉碗	タイ	15-16世紀	高さ7.5 口径12.9	54013702
17-Ha-690	トチン	タイ	15世紀	高さ19.5	54013703
17-Ha-691	鉄絵双魚文鉢	タイ	13-14世紀	高さ4.5 口径23.2	54013704
17-Ha-692	青磁刻花蓮華文盤	タイ	14-15世紀	高さ6.2 口径28.5	54013705
17-Ha-693	褐釉広口壺	タイ	14-15世紀	高さ12.3 胴径18.4	54013706
17-Ha-694	焼締小壺	タイ	15-16世紀	高さ5.7 胴径6.9	54013707
17-Ha-695	叩き文ハンネラ壺 蓋付	タイ	15-17世紀	総高17.7 胴径19.3	54013708
17-Ha-696	叩き文ハンネラ壺	タイ	15-17世紀	高さ14.0 胴径17.5	54013709
17-Ha-697	筒形耳付壺	カンボジア	15-17世紀	高さ17.3 胴径11.7	54013710
17-Ha-698	褐釉平小壺	カンボジア	12-13世紀	高さ4.3 胴径6.9	54013711
17-Ha-699	灰釉蓋付小壺	カンボジア	12-13世紀	高さ5.0 胴径7.7	54013712
17-Ha-700	幾何文広口土器	ミャンマー	19-20世紀	高さ9.8 胴径15.1	54013713

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Ha-701	焼締ゆがみ碗	ラオス	16-18世紀	高さ7.8 口径14.7	54013714
17-Ha-702	焼締ゆがみ碗	ラオス	16-18世紀	高さ7.1 口径14.2	54013714
17-Ha-703	黒褐釉広口壺	ラオス	16-17世紀	高さ7.1 胴径9.1	54013715
17-Ha-704	焼締印文長頸瓶	ラオス	16-18世紀	高さ22.2 胴径16.5	54013716
17-Ha-705	焼締水注	ラオス	14-15世紀	高さ29.8 胴径15.8	54013717
17-Ha-706	芋頭形壺	ラオス	16-18世紀	高さ19.1 胴径23.0	54013718
17-Ha-707	焼締縄簾縦長壺 蓋付	ラオス	16-18世紀	高さ14.3 胴径14.8	54013719
17-Ha-708	刻花文広口土器	フィリピン	不詳	高さ9.3 口径13.7	54013720
17-Ha-709	鎬文平形土器	インドネシア	不詳	高さ5.6 口径21.9	54013723

本多コレクション　漆工

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Hb-1	蒟醤手提げ宝石箱	タイ	19-20世紀	高さ9.3 横19.9 奥行11.8	54013724
17-Hb-2	蒟醤花文合子(入子)	タイ	19-20世紀	高さ6.3 径16.0	54013725
17-Hb-3	蒟醤花文合子	タイ	19-20世紀	高さ3.7 径6.8	54013726
17-Hb-4	黒漆合子	タイ	19-20世紀	高さ4.3 径8.0	54013727
17-Hb-5	黒漆篭目文合子	カンボジア	19-20世紀	高さ11.6 長径25.1	54013728
17-Hb-6	蒟醤脚付竹象嵌卓	カンボジア	18-20世紀	高さ10.6 径26.5	54013729
17-Hb-7	蒟醤宮廷狩猟文箱	ミャンマー	19-20世紀	高さ20.6 横39.7 奥行25.4	54013730
17-Hb-8	蒟醤牡丹唐草文壺	ミャンマー	19-20世紀	高さ12.3 径20.5	54013731
17-Hb-9	蒟醤草花文碗	ミャンマー	19-20世紀	高さ16.2 口径19.3	54013732
17-Hb-10	蒟醤洗	ミャンマー	19-20世紀	高さ6.9 口径12.8	54013733
17-Hb-11	黒蒟醤銀象嵌花文合子	ミャンマー	19-20世紀	高さ7.9 径11.3	54013734
17-Hb-12	蒟醤城郭文合子	ミャンマー	19-20世紀	高さ12.8 径13.6	54013735
17-Hb-13	蒟醤市松文合子	ミャンマー	19-20世紀	高さ6.1 径7.1	54013736
17-Hb-14	蒟醤飛び鉋文合子	ミャンマー	19-20世紀	高さ11.4 径12.5	54013737
17-Hb-15	蒟醤幾何学文合子	ミャンマー	19-20世紀	高さ9.7 径11.2	54013738

本多コレクション　金工

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Hc-1	銀製筒形合子	タイ	15-17世紀	高さ8.2	54013739
17-Hc-2	青銅製銅鑼	タイ	16-17世紀	高さ7.8 径33.2	54013740
17-Hc-3	青銅製耳付釜	カンボジア	16世紀	高さ8.9 径16.2	54013741
17-Hc-4	砂張製砂金袋形壺	カンボジア	16-18世紀	高さ11.0 胴径16.7	54013742
17-Hc-5	砂張製モール文台鉢	カンボジア	15-17世紀	高さ12.4 口径18.7	54013743
17-Hc-6	砂張製モール文深鉢	カンボジア	15-17世紀	高さ14.0 口径21.4	54013744
17-Hc-7	砂張製モール文碗	カンボジア	15-16世紀	高さ7.5 口径14.8	54013745
17-Hc-8	砂張製モール文碗	カンボジア	15-16世紀	高さ5.8 口径10.5	54013745
17-Hc-9	砂張製碗	カンボジア	16-18世紀	高さ7.5 胴径14.9	54013746
17-Hc-10	砂張製輪花盆	カンボジア	11-12世紀	高さ3.5 口径33.5	54013747
17-Hc-11	砂張製盆	カンボジア	16-17世紀	高さ4.3 口径26.8	54013748
17-Hc-12	砂張製盆	カンボジア	14-15世紀	高さ2.7 口径22.7	54013749
17-Hc-13	青銅製脚付注水器青銅	カンボジア	15-16世紀	高さ25.2	54013750
17-Hc-14	製リング形鈴	カンボジア	16-18世紀	高さ3.6 径6.3	54013751
17-Hc-15	銀製筒形合子	ラオス	18-19世紀	高さ6.5	54013752
17-Hc-16	砂張製神獣文深鉢	インドネシア	不詳	高さ12.3 口径14.9	54013753
17-Hc-17	砂張製釣舟花生	インドネシア	15-16世紀	高さ21.3 幅20.0 総長40.4	54013754

本多コレクション　その他

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	備品受入番号
17-Hf-1	籐製笈子	タイ	19-20世紀	高さ18.5	54013755
17-Hf-2	竹籐製小物入れ	タイ	19-20世紀	高さ18.0	54013756
17-Hf-3	竹製飯器	タイ	19-20世紀	高さ7.2 径13.4	54013757
17-Hf-4	竹製小物入れ	タイ	19-20世紀	高さ18.1	54013758
17-Hf-5	竹製魚籠	ラオス	19-20世紀	高さ24.0	54013759
17-Hf-6	籐製鉈の鞘	ラオス	19-20世紀	高さ28.5	54013760
17-Hf-7	竹製魚籠	フィリピン	19-20世紀	高さ22.0	54013761
17-Hf-8	竹製耳付魚籠	フィリピン	19-20世紀	高さ22.0	54013762
17-Hf-9	竹下げ籠	フィリピン	19-20世紀	高さ18.0 幅20.6	54013763
17-Hf-10	竹製魚籠	フィリピン	19-20世紀	高さ14.0 径19.5	54013764
17-Hf-11	竹籐製魚籠	フィリピン	19-20世紀	高さ15.5 径21.0	54013765
17-Hf-12	籐製壺形籠 蓋付	インドネシア	19-20世紀	高さ5.8 径8.2	54013766
17-Hf-13	籐製蒟醤噛み煙草入れ	インドネシア	19-20世紀	高さ2.6 径5.8	54013767
17-Hf-14	合子	インドネシア	19-20世紀	高さ17.2	54013768
17-Hf-15	竹籐製魚籠	中国	19-20世紀	高さ22.3	54013769

▲鋸歯文様偉絣 カンボジア 20世紀初頭

▲色絵樹下双鳥文皿 有田焼 江戸時代前期

▲大亀形合子 中国 16-17世紀

図書・映像資料

図書関係受入状況

		和書	洋書
購入	図書	136	56
	図録	2	22
	年報・紀要	2	0
寄贈	図書	104	50
	図録	604	468
	年報・紀要	300	8
	製本資料	0	0
	雑誌	422	210
合計		1,570	814
総計			2,384

単位(冊)

ビデオ関係受入状況

購入	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	DVD	1
	マイクロフィルム	0
寄贈	ビデオ	12
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	4
	DVD	3
	マイクロフィルム	0
合計		20

単位(点)

美術資料の修復

■近現代美術

種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
油彩等	斎藤秀三郎	作品	1967	117.0×91.5	油彩・画布	1点	1-A-352
油彩等	久野大正	樹間	1953-55	80.2×116.5	油彩・画布	1点	1-A-441
日本画等	冨田溪仙	樹下黒牛図	1911-16	115.4×42.5	紙本墨画淡彩	1幅	1-B-122
彫刻等	草間彌生	南瓜	1994	200×250×250	FRP、ウレタン塗料	1点	2-G-23

■古美術

種別	作品名	作者名・産地	制作年	法量(cm)	品質	数量	所蔵品番号
絵画	鶏に藤図	円山応瑞	江戸時代	縦119.0 横56.0	絹本着色	1幅	4-B-175
絵画	群牛図	伝・戴澤	室町時代	縦33.7 横74.8	絹本墨画	1幅	4-B-193
絵画	文琳記	小堀遠州	江戸時代	縦28.0 横50.9	紙本墨書	1幅	4-I-6
絵画	神妙録	伝・沢庵宗彭	江戸時代	縦18.5 横1063.8	紙本墨書	1巻	4-I-29
陶磁器	牛車		後漢時代	総高23.7 総長46.5 牛長25.5	陶器	1組	6-Ha-162
陶磁器	白釉鉄絵詩歌文四耳瓶	磁州窯	元時代	総高32.0 胴径21.0	陶器	1口	7-Ha-35
染織	菱格子星文様緯糸紋織	スマトラ島パレンバン	19-20世紀	経97.2 緯243.2	絹、金糸	1点	14-Hd-53
染織	鋸歯文様緯絣	カンボジア	20世紀初頭	経206.5 緯107.6	絹	1点	14-Hd-286
染織	草花幾何学文様絞	カンボジア	20世紀	経191 緯77.5	絹	1点	14-Hd-287
染織	星花文様緯紋織	カンボジア	19-20世紀	経161.0 緯83.6	絹	1点	14-Hd-289
刀剣	短刀	藤原忠広(二代)	江戸時代	総長40.8 刃長29.1 反り0.3	鉄(鍛造)	1口	14-He-8
刀剣	薙刀		江戸時代	総長48.0刃 長37.3 反り1.6	鉄(鍛造)	1口	14-He-9

美術資料の貸出

■近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
版画	アンリ・マティス	ジャズ15 ナイフを投げる男	3-E-372	ディック・ブルーナ展	サントリーミュージアム[天保山]	平成15年7月19日－8月31日
版画	アンリ・マティス	ジャズ17 干潟I	3-E-374	ミッフィー、ブラック・ベア、	刈谷市美術館	平成15年9月20日－11月2日
版画	アンリ・マティス	ジャズ18 干潟II	3-E-375	そのシンプルな色とかたち	福岡県立美術館	平成15年12月24日－平成16年2月8日
版画	アンリ・マティス	ジャズ19 干潟III	3-E-376		板橋区立美術館	平成16年2月21日－3月28日
					横浜そごう美術館	平成16年4月3日－5月5日
					新潟県立万代島美術館	平成16年5月11日－6月13日
					ハウステンボス美術館 (貸出は板橋区立美術館より4会場のみ)	平成16年6月25日－8月31日
油彩等	野見山暁治	人間	1-A-486	野見山暁治展	東京国立近代美術館	平成15年8月12日－10月5日
					大分市美術館	平成16年2月11日－3月25日
					富山県立近代美術館	平成16年4月3日－5月23日
					愛知県美術館	平成16年6月4日－7月19日
油彩等	坂本繁二郎	鮭	1-A-44	再考:近代日本の絵画	東京芸術大学大学美術館	平成16年4月10日－6月20日
水彩等	吉田 博	日暮里	1-C-117	美意識の形成と展開	東京都現代美術館	
水彩等	吉田 博	農村の夜明け	1-C-191			
素描	河原 温	孕んだ女(下図)	2-D-1			
油彩等	野口弥太郎	パリの眺め	1-A-149	昭和前期の洋画	島根県立美術館	平成16年4月23日－5月30日
油彩等	三岸好太郎	海と射光	2-A-40	1923～1945		
油彩等	ジョアン・ミロ	ゴッシク聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子	3-A-10	Calder Miro(カルダー・ミロ)	バイエラー財団 (スイス、バーゼル)	平成16年5月2日－9月5日
					フィリップ・コレクション (アメリカ、ワシントン) (貸出はスイス会場のみ)	平成16年10月9日－平成17年1月23日

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
日本画等	横山大観	寒山拾得	2-B-7	近代日本画壇の巨匠 「横山大観展」	水野美術館 京都国立近代美術館	平成16年5月18日－6月20日 平成16年6月29日－8月8日
油彩等	横尾忠則	暗夜光路　旅の夜	2-A-145	横尾忠則「Y字路展」	宮崎県立美術館	平成16年5月29日－6月27日
油彩等	アンディ・ウォーホル	エルヴィス	3-A-98	開館20周年記念展 コピーの時代－デュシャンからウォーホル、モリムラへ－	滋賀県立近代美術館	平成16年6月5日－9月5日
油彩等	ロイ・リキテンシュタイン	雲のある海景	3-A-9	イメージの水位 －ナルキッソスをめぐる変容と反射	豊田市美術館	平成16年7月6日－9月5日
油彩等	マーク・ロスコ	無題	3-A-30			
油彩等	海老原喜之助	聖者の楽日	1-A-31	画家再生 －海老原喜之助生誕100年祭－	熊本市現代美術館	平成16年8月28日－10月31日
油彩等	海老原喜之助	沢田藤一郎教授肖像	1-A-182			
油彩等	海老原喜之助	花ぬす人	1-A-257			
油彩等	海老原喜之助	白い鳥 黒い鳥	1-A-289			
油彩等	海老原喜之助	出発	1-A-295			
油彩等	海老原喜之助	走馬灯	1-A-349			
油彩等	サルヴァドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	ダリ展	パラッツォ・グラッシ美術館 (イタリア、ヴェネチア)	平成16年9月12日－平成17年1月9日
油彩等	山喜多二郎太	画室にて	1-A-161	山喜多二郎太 －禅寺の天井に油彩で竜を描いた画家	一宮市博物館	平成16年10月9日－11月14日
油彩等	山喜多二郎太	むすめ	1-A-162			
油彩等	山喜多二郎太	キモノ少女	1-A-163			
日本画等	山喜多二郎太	観音菩薩像	1-B-70			
油彩等	牛島憲之	貝焼場	1-A-23	牛島憲之と昭和前期の絵画 －抽象と具象のあいだ	府中市美術館	平成16年10月9日－11月28日
油彩等	牛島憲之	赤坂見附	1-A-24			
油彩等	田崎広助	松と朝顔	1-A-53			
油彩等	児島善三郎	春待つ田圃	1-A-204			
日本画等	冨田溪仙	沖縄三題	1-B-65	開館15周年記念 失楽園 風景表現の近代1870-1945	横浜美術館	平成16年10月9日－12月12日
日本画等	冨田溪仙	沖縄三題	1-B-158			
版画	ロベール・ドローネー	塔	3-E-29			
版画	ロベール・ドローネー	街に望む窓	3-E-30			
版画	ロベール・ドローネー	塔と女	3-E-32			
彫刻等	朝倉文夫	墓守	1-G-1	朝倉文夫彫刻展	つなぎ美術館	平成16年10月16日－11月28日
彫刻等	草間彌生	夏1	2-G-26	草間彌生－永遠の現在 草間彌生－永遠の現在 草間彌生－魂を燃やす8つの空間 草間彌生－無限の大海をいく時 草間彌生－魂のおきどころ	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 広島市現代美術館 熊本市現代美術館 松本市美術館	平成16年10月26日－12月19日 平成17年1月6日－2月13日 平成17年2月22日－4月17日 平成17年4月29日－7月3日 平成17年7月30日－10月10日
彫刻等	草間彌生	夏2	2-G-27			
油彩等	山内重太郎	作品5	1-A-348	痕跡 －戦後美術における身体と思考	京都国立近代美術館 東京国立近代美術館	平成16年11月9日－12月19日 平成17年1月12日－2月27日
油彩等	桜井孝身	リンチ	1-A-353			
油彩等	石橋泰幸	オヒサマ	1-A-387			
油彩等	尾花成春	自画像	1-A-403			
彫刻等	関根伸夫	空相－黒No.34	2-G-33			
彫刻等	関根伸夫	空相－黒No.9	2-G-34			
油彩等	イヴ・クライン	人体測定(ANT157)	3-A-43			
水彩等	吉田 博	村の橋	1-C-144	日本絵画・20世紀の草創 日清－日露戦争の時代	下関市立美術館	平成16年11月11日－12月26日
水彩等	青木 繁	黄泉比良坂	7-C-1			
素描	青木 繁	黄泉比良坂	7-D-1			
写真	榎倉康二	予兆のためのコレクションNo.29	2-F-399	榎倉康二展	東京都現代美術館	平成17年1月15日－3月21日
写真	榎倉康二	予兆のためのコレクションNo.37	2-F-400			
写真	榎倉康二	予兆のためのコレクションNo.40	2-F-401			
写真	榎倉康二	予兆のためのコレクションNo.50	2-F-402			
写真	榎倉康二	予兆のためのコレクションNo.57	2-F-403			
彫刻等	榎倉康二	予兆のためのコレクション－鉄	2-G-32			

■古美術

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
漆工	梨子地三葉葵紋截金鞍		4-Hb-1	将軍ー徳川家十五代展	福岡市美術館	平成16年7月23日ー9月5日
その他	梵字采配		4-Hf-169-2			
陶磁器	槍梅香合	尾形乾山	6-Ha-86	乾山ー幽邃と風雅の世界ー	MIHO MUSEUM(滋賀県)	平成16年9月1日ー12月15日
陶磁器	色絵菊図向付	尾形乾山	6-Ha-109			
工芸	牡丹文蒔絵太鼓	観世暮閑	4-Hb-21	OMOTEー能面の世界ー	福岡市博物館	平成16年9月10日ー10月17日
書跡	謡本	狩野探幽 狩野永真 狩野洞雲	4-I-34			
絵画	泰西風俗図屏風		4-B-98	ザビエル・宗麟・キリスト教 南蛮文化の精華	大分市美術館	平成16年9月17日ー10月24日
彫刻	阿弥陀如来立像		5-G-3	新納忠之助 ー仏像修復にかけた生涯ー	鹿児島市立美術館	平成16年10月5日ー11月7日
彫刻	十二神将立像 招杜羅大将・丑神		5-G-7-2			
彫刻	十二神将立像 摩虎羅大将・卯神		5-G-7-4			
彫刻	十二神将立像 招杜羅大将・丑神		5-G-8-2			
彫刻	十二神将立像 伐折羅大将・戌神		5-G-8-11			
絵画	十二天像		5-B-1	天部の美ーご利益と護のほとけたち	熊本県立美術館	平成16年10月22日ー11月28日
彫刻	金剛力士立像(阿形)		5-G-11-1			
彫刻	金剛力士立像(吽形)		5-G-11-2			
絵画	源氏物語図屏風	土佐光起	11-B-10	源氏絵〜華やかなる王朝の世界〜	出光美術館	平成17年1月8日ー3月6日

展示室

平成16年

▶兵馬俑その輝く世界　江源個展
3月30日(火)－4月4日(日)
特別展示室Ｂ
日数＝6日／観覧者数＝1,456人
中国の秦始皇時代の兵馬俑をテーマにした油彩41点。

▶中村洋一　葦ペン画展
3月30日(火)－4月4日(日)
市民ギャラリーＡ
日数＝6日／観覧者数＝1,783人
自作の葦ペンを使って風景、人物などを描いたスケッチ展。水彩画(葦ペン画)82点。

▶切り絵グループ展
3月30日(火)－4月4日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,207人
風景、花木、祭、歴史的民家など白黒、彩色の切り絵92点。

▶木内宗吾ギヤマン彫刻絵画門下生展
3月30日(火)－4月4日(日)
市民ギャラリーＣ
日数＝6日／観覧者数＝1,329人
ガラス、和紙にダイヤのカッターで描く融合美の絵画81点。

▶第8回 中国芸術研究所研究員作品展
3月30日(火)－4月4日(日)
市民ギャラリーＤ
日数＝6日／観覧者数＝1,492人
絵画、書道、篆刻など80点。

▶うららかな花のうた展
4月6日(火)－4月11日(日)
特別展示室Ｂ
日数＝6日／観覧者数＝905人
山頭火、五行歌などの句や歌を書で描いた額、巻物など約50点。

▶花芯
4月6日(火)－4月11日(日)
市民ギャラリーＡ
日数＝6日／観覧者数＝1,390人
花のクローズアップ写真50点。

▶第６回 博水会展
4月6日(火)－4月11日(日)
市民ギャラリーＢ
日数＝6日／観覧者数＝994人
小谷修一氏を講師とする水彩画のグループ展。水彩画54点。

▶現代水墨 雅象会
4月6日(火)－4月11日(日)
市民ギャラリーＣ
日数＝6日／観覧者数＝1,507人
会員20名の水墨画の作品39点。

▶第3回 はじめての日本画展
4月6日(火)－4月11日(日)
市民ギャラリーＤ
日数＝6日／観覧者数＝1,387人
NHK文化センターの受講生による10号から50号の作品36点。

▶中美秀作展
4月13日(火)－4月18日(月)
特別展示Ｂ
日数＝6日／観覧者数＝3,949人
初代会長児島善三郎氏のもとに発足した中央美術協会の全国より選抜した会員の作品と地元会員の絵画作品43点。

▶蒼土の会作品展
4月13日(火)－4月18日(月)
市民ギャラリーＡ
日数＝6日／観覧者数＝1,358人
会員による油絵、書、写真、陶芸、水彩などの作品展。

▶原色押花　西日本地区合同展
4月13日(火)－4月18日(月)
市民ギャラリーＢ
日数＝6日／観覧者数＝1,198人
全国の日本原色押花協会会員の作品100点。

▶ステンドグラス「末積アート教室展」
4月13(火)－4月18日(日)
市民ギャラリーＣ
日数＝6日／観覧者数＝2,517人
ステンドグラスのスタンドやパネルなど約200点。

▶第６回 彩美会油絵展
4月13日(火)－4月18日(日)
市民ギャラリーＤ
日数＝6日／観覧者数＝1,295人
阿部平臣氏が教える、絵画教室の生徒の作品70点。

▶第17回 三軌会写真部九州展
4月20日(火)－4月25日(日)
特別展示室Ｂ
日数＝6日／観覧者数＝5,787人
東京本展の写真部門選抜作品と九州、中国、沖縄関係入選作品200点。

▶新生起美術協会展
4月20日(火)－4月25日(日)
市民ギャラリーＡ
日数＝6日／観覧者数＝974人
福岡、北九州、嘉穂、行橋、八女の各支部の会員による
油絵、水彩、水墨、日本画の展示。

▶伊都の里研修所開設10周年記念作品展
4月20日(火)－4月25日(日)
市民ギャラリーＢ・Ｃ
日数＝6日／観覧者数＝849人
平成６年４月開設以来の受講生による漢字、かなの軸、額142点。

▶第5回 求美会日本画展－稲員頼子と門下生
4月20日(火)－4月25日(日)
市民ギャラリーＤ
日数＝6日／観覧者数＝1,718人
個性的で本格的日本画27点。

▶弘中良子個展
4月27日(火)－5月5日(水)
特別展示室Ｂ
日数＝9日／観覧者数＝10,399人
女性の日常の喜び苦しみについての様々なかたちをテーマにした油絵、クロッキー他31点。

▶福岡市美術展ボルドーの会　第10回作品展
4月27日(火)－5月5日(水)
市民ギャラリーＡ
日数＝9日／観覧者数＝1,533人
第26回市美術展の入選者の仲間の陶芸、書道、写真、油絵、日本画の作品104点。

▶第7回　平川幸児写真教室　私的暦写真展
4月27日(火)－5月5日(水)
市民ギャラリーＢ・Ｃ
日数＝9日／観覧者数＝1,650人
世界には、いろいろな基準で作られた暦がある。本展覧会は暦を主題とする写真展。156点。

▶翔の会展示会
4月27日(火)－5月5日(水)
市民ギャラリーＤ
日数＝9日／観覧者数＝1,754人
「基礎からの油絵」教室の生徒による油彩画47点。

▶2004玄展
5月7日(金)－5月16日(日)
特別展示室Ｂ
日数＝9日／観覧者数＝11,029人
40周年を記念して、「見る人も参加して作品になる」を視点にした絵画と彫刻24点。

▶斐順一写真展「雲の情景(1993－2003)」
5月7日(金)－5月16日(日)
市民ギャラリーＡ
日数＝9日／観覧者数＝1,372人
雲という身近な被写体をメインテーマに地元福岡のさまざまな景色の写真49点。

▶第22回 墨心会水墨画展
5月7日(金)－5月16日(日)
市民ギャラリーＢ
日数＝9日／観覧者数＝1,488人
長尾、西長住、西花畑、花畑公民館の水墨画サークル会の作品62点。

▶星華中国水墨画学院展
5月7日(金)－5月16日(日)
市民ギャラリーＣ
日数＝9日／観覧者数＝1,598人
水墨画39点。

▶南北墨画会
5月7日(金)－5月16日(日)
市民ギャラリーＤ
日数＝9日／観覧者数＝1,766人
福岡地区教室の作品展。73点。

▶吉原美智子遺作展
5月18日(火)－5月23日(日)
特別展示室Ｂ
日数＝6日／観覧者数＝7,091人
小野茂明氏に師事した、日本画48点。

▶第16回 福岡水彩画同好会展
5月18日(火)－5月23日(日)
市民ギャラリーＡ
日数＝6日／観覧者数＝1,522人
会員の水彩画64点。

▶牧野水墨画教室作品展
5月18日(火)−5月23日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,570人
山水画を中心とする同好会展。水墨画56点。

▶火曜日の会
5月18日(火)−5月23日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,277人
早良市民センターでデッサン、油彩を勉強しているグループの油絵37点。

▶花と緑と夢のハーモニー展
5月18日(火)−5月23日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,708人
透明水彩絵具を使用した植物画104点。

▶般の会(SAI)2004
5月25日(火)−5月30日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=9,969人
作品の形態を超え実験的な制作をめざす13名の平面、立体、インスタレーションの作品16点。

▶第4回 福岡江古田会アート展
5月25日(火)−5月30日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,156人
日本大学芸術学部OBで福岡県在住の会員グループ展。写真、絵画、工芸96点。

▶福岡墨雅会会員展
5月25日(火)−5月30日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,065人
水墨画約60点。

▶九電本店九友会絵画展
5月25日(火)−5月30日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,694人
日本画、水墨画、油絵など95点。

▶第23回 八元会日本画・水墨画合同展
5月25日(火)−5月30日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,574人
名島、和白、八田、香住丘、箱崎公民館でのサークル展。日本画3点、水墨画41点。

▶滝口文吾作品展(生命体シリーズ)
6月1日(火)−6月6日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=10,596人
生命のダイナミックな発露を鮮烈に表現する、現代美術としての油彩150号から200号までの25点。

▶城南文化サークル油絵教室
6月1日(火)−6月6日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,275人
油彩、水彩、はがき絵105点。

▶第9回 立花会油絵展
6月1日(火)−6月6日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,064人
九州造形短期大学公開講座の受講生によるキャンバス30号から100号まで約45点。

▶突展2004 福岡教育大学美術科OB有志展
6月1日(火)−6月6日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,265人
油彩、水彩、版画、彫刻など約50点。

▶第5回 82AP展
6月1日(火)−6月6日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,088人
九州産業大学写真学科のOB展。

▶第14回 わだち展
6月8日(火)−6月13日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=10,791人
行動美術の阿部平臣講師の門下生7名による油絵、水彩画32点。

▶第3回「SHAKE」展
6月8日(火)−6月13日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=980人
九州産業大学芸術学部'95年卒業生の絵画、陶芸、写真など52点。

▶第19回 江墨会水墨画展
6月8日(火)−6月13日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,933人
NHK福岡文化センター等で開催している水墨画教室の作品140点。

▶第18回 心自会書展
6月8日(火)−6月13日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,731人
身近な実用書翰や筑紫万葉さらにこの土地にちなんだ詩などの作品約80点。

▶写遊みらい 第5回写真展
6月15日(火)−6月20日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=915人
会員8名による砂浜、寺、街角、水をモチィーフにした写真と故郷をイメージした写真115点。

▶福岡CGアート塾生作品展
6月15日(火)−6月20日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,039人
CGによるイラスト、コラージュ、デザインなど100点。

▶みづたまの会
6月15日(火)−6月20日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=962人
受講生20名による水彩画82点。

▶第22回 グループわらべ水彩画展
6月15日(火)−6月20日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,102人
朝日カルチャーセンター水彩画教室の受講生などの水彩、パステル画64点。

▶押花国際文化連盟 第5回押し花作品展
6月15日(火)−6月20日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=892人
押し花103点。

▶第63回 創元展
6月22日(火)−6月27日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円(600円)、高・大生500円(400円)、小・中生無料　※( )内は割引料金
日数=6日/観覧者数=3,128人
東京展の選抜作品と地元公募作品(油彩、水彩、版画など)242点。

▶第13回 翠峰会展
6月22日(火)−6月27日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,002人
会員80名による書、水墨画を主体とした作品88点。

▶しゅんこうの和紙ちぎり絵 第22回福岡教室作品展
6月22日(火)−6月27日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,418人
伝統ある手漉き和紙を指先でちぎり、のりで貼りながら制作する和紙絵画の作品約250点。

▶第1回 錦社書法展
6月22日(火)−6月27日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,170人
漢字、かな、調和体、水墨画など55点。

▶和田木彫教室 木彫り展
6月22日(火)−6月27日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=2,340人
丸彫、板彫、レリーフなど200点。

▶第20回 西部朝日書道展
6月29日(火)−7月4日(日)
特別展示室A・B
日数=6日/観覧者数=1,877人
漢字、かな、篆刻の公募作品1,364点。

▶松本一江傘寿記念展
6月29日(火)−7月4日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,053人
油絵、コンテなどによる絵画約40点。

▶アーティフィシャル・フラワー布の花
6月29日(火)−7月4日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,225人
花弁や葉の形にした造花や着物の布をカットして布の風合いを生かし花等に仕上げた作品200点。

▶福岡市森林組合木工教室作品展
6月29日(火)−7月4日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,414人
木の器、玩具、額縁、文箱、小家具など木工作品240点。

▶伊都美術工芸協会会員展
6月29日(火)−7月4日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,070人
木工、絵画、書、写真など81点。

▶第100回 太平洋展 第39回太平洋西日本公募展
7月6日(火)−7月11日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円(600円)、高・大生600円(500円)、小・中生無料　※( )内は割引料金
日数=6日/観覧者数=4,377人
絵画、彫刻、版画、染織285点。

▶九州大学写真部七月展
7月6日(火)−7月11日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=856人
写真部員による写真作品27点。

▶九州日中水墨画研究会交流書画展
7月6日(火)−7月11日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=859人
在日中国人画家、研究会員による山水、人物、花鳥画等62点。

▶伯美会30周年記念展
7月6日(火)−7月11日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,442人
会員による油絵46点。

▶第二回 朝陽書道会九州支部展
7月6日(火)−7月11日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,806人
扇面、軸、額の作品99点。

▶第22回 上野の森美術館大賞展九州展
7月13日(火)−7月18日(日)
特別展示室A
観覧料=一般600円(500円)、高・大生400円(300円、小・中生無料　※( )内は割引料金
日数=6日/観覧者数=995人
公募展入賞作品、九州地区在住作家の日本画、油彩、アクリル、版画等作品50点。

▶第5回 二科会写真部福岡支部写真公募展・支部員展
7月13日(火)−7月19日(月)
特別展示室B
日数=7日/観覧者数=1,610人
全紙パネル作品179点。

▶飯田武子個展
7月13日(火)−7月19日(月)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=644人
「世界の国花をたずねて」、「星の花」のテーマで、パステル画50点。

▶凌大維個展
7月13日(火)−7月19日(月)
市民ギャラリーB
日数=7日/観覧者数=633人
絵画7点。

▶「賛華会」第1回写真展
7月13日(火)−7月19日(月)
市民ギャラリーC
日数=7日/観覧者数=1,098人
写真を楽しむ会員の半切額装59点。

▶第32回 龍飛会書展
7月13日(火)−7月19日(月)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=683人
半切以内、半切1/3以上の額装漢字作品約90点。

▶第18回 工芸美術知新会展
7月21日(火)−8月1日(日)
特別展示室B
日数=11日/観覧者数=3,005人
会員および公募作品の展示。陶磁、染、染織、皮革、人形64点。

▶"郷愁"−(個展)
7月21日(水)−7月25日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=363人
辻占い、移動写真館、屋台など日常街頭情景と記憶の中の郷愁を実在体験空間に再現。4点。

▶CHUBI 8 Exhibition
7月21日(水)−7月25日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=460人
福教大中学教育課程美術専攻4年による油絵、立体作品など36点。

▶雅友会水彩画展
7月21日(水)−7月25日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=829人
会員の水彩画69点。

▶第17回 明墨会書展
7月21日(水)−7月25日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=565人
漢字の各体、かな、調和体の大小作品64点。

▶´88 九州造形短期大学卒業生 EYE´S写真展
7月27日(火)−8月1日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=656人
それぞれの目から見た「現在」をレンズを通し、それぞれテーマでの写真78点。

▶第26回 朝日学生書道展
7月27日(火)−8月1日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=960人
九州、山口、沖縄各県の小・中・高校生の公募展。特別賞100点と推薦、特選あわせ446点。

▶福岡国際交流写真協会会員展
7月27日(火)−8月1日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=659人
姉妹都市広州、釜山との交流写真半切51点。

▶第18回 日洋展
8月3日(火)−8月8日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C
観覧料=一般600円、高・大生400円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=2,662人
委員、会員と一般公募入選作品。油彩143点。

▶第21回 観生会展
8月3日(火)−8月8日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=504人
福教大書道科卒業生の会の二曲屏風、横額、全紙作品。

▶グループ青彫刻展
8月10日(火)−8月15日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,650人
会員7名、日展作品彫刻37点、平面8点。

▶第29回 游展
8月10日(火)−8月15日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=793人
具象から抽象までの油絵34点。

▶「港のネコ」
8月10日(火)−8月15日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=945人
モノクロ写真444点。

▶第5回 玄洋・周船寺公民館水彩教室展
8月10日(火)−8月15日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=704人
4号〜30号の水彩画75点。

▶森北さわこ展
8月10日(火)−8月15日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,163人
コンピューターグラフィックスと立体作品50点。

▶寒梅人水墨の世界展
8月17日(火)−8月22日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,470人
水墨画など45点。

▶グループテオ展
8月17日(火)−8月22日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=720人
壁面作品、立体オブジェ、絵本など85点。

▶九州FOTOグループ展
8月17日(火)−8月22日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=742人
文化サークルと公開講座受講者合同写真展。92点。

▶Clippersグループ展
8月17日(火)—8月22日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日／観覧者数=680人
写真や服など若いクリエーターの作品。

▶第44回 西日本フォトコンテスト入賞作品巡回展
8月17日(火)—8月22日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日／観覧者数=912人
入賞作品80点、招待作家18点、役員19点。

▶日韓交流展—映像/空間/身体—
8月24日(火)—8月29日(日)
特別展示室B
日数=6日／観覧者数=2,115人
映像9点、設置(インスタレーション)19点。

▶第4回 早良区・西区公民館水墨画サークル合同作品展
8月24日(火)—8月29日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日／観覧者数=1,389人
水墨画、墨彩画88点。

▶彩の会水彩画展
8月24日(火)—8月29日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日／観覧者数=1,370人
東月隈公民館水彩画教室の水彩画、アクリル画52点。

▶第20回 紫彩展
8月24日(火)—8月29日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日／観覧者数=1,106人
絵画、木彫、陶芸、版画、日本画など約40点。

▶第12回 さくら会水彩画展
8月24日(火)—8月29日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日／観覧者数=1,539人
西長住公民館水彩画教室さくら会水彩画72点。

▶第13回 新作能面展
8月31日(火)—9月5日(日)
特別展示室B
日数=6日／観覧者数=4,938人
西日本能面研究会の入賞作品を中心に105点。

▶第32回 福岡県人書作展
8月31日(火)—9月5日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日／観覧者数=598人
パネル、軸装の書作品20点。

▶モノクロームの風
8月31日(火)—9月5日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日／観覧者数=1,045人
モノクロの風景、静物、スナップなど半切で約100点。

▶第8回 甃の会
8月31日(火)—9月5日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日／観覧者数=938人
孔版(ペーパースクリーン)画54点。

▶グレー18
8月31日(火)—9月5日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日／観覧者数=1,144人
モノクローム写真70点。

▶画業合せて100年展 二宮哲男・滝川まさみ
9月7日(火)—9月12日(日)
特別展示室B
日数=6日／観覧者数=914人
油彩キャンバス約30点。

▶押し花アートグループ展
9月7日(火)—9月12日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日／観覧者数=717人
押し花絵額約70点。

▶博美会油絵展
9月7日(火)—9月12日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日／観覧者数=1,085人
油絵38点。

▶アトリエ・バルール展
9月7日(火)—9月12日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日／観覧者数=871人
水彩、油彩57点。

▶第16回 サムホール公募展
9月7日(火)—9月12日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日／観覧者数=1,695人
油彩、水彩、パステルなど434点。

▶第9回 福岡市美術連盟展
9月14日(火)—9月19日(日)
特別展示室A
日数=6日／観覧者数=1,864人
推薦作家、招待作家、会員による日本画、絵画、彫刻、写真など158点。

▶神崎東洋彦展
9月14日(火)—9月20日(月)
特別展示室B
日数=7日／観覧者数=774人
現代美術6点、立体30点。

▶第38回 青像グループ写真展
9月14日(火)—9月20日(月)
市民ギャラリーA
日数=7日／観覧者数=1,019人
肖像写真(モノクローム、カラー)約50点。

▶第34回 世界児童画展 福岡・佐賀展
9月14日(火)—9月20日(月)
市民ギャラリーB・C
日数=7日／観覧者数=1,788人
世界の子ども達の絵画555点。

▶第3回「風2004」合同写真展
9月14日(火)—9月20日(月)
市民ギャラリーD
日数=7日／観覧者数=1,179人
若久、草ヶ江、東花畑公民館合同写真展。
風景、スナップ、花など72点。

▶第6回N548展
9月22日(水)—9月26日(日)
特別展示室B
日数=5日／観覧者数=283人
九州産業大学芸術学部酒井研究室OBによる平面34点、立体3点。

▶宇野恵美子個展
9月22日(水)—9月26日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日／観覧者数=713人
平面絵画26点。

▶Passion of Letters
カリグラフィー、アルファベットにできること
9月22日(水)—9月26日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日／観覧者数=604人
西洋の書道とも言えるカリグラフィー額装作品56点。

▶第10回 みづゑ展
9月22日(水)—9月26日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日／観覧者数=1,189人
みづゑ教室水彩作品70点。

▶第3回 サンドレリーフ・ガラス作品展
9月22日(水)—9月26日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日／観覧者数=1,002人
ランプ、菓子皿、鉢、花器、グラスなど約300点。

▶伝書
9月28日(火)—10月3日(日)
特別展示室B
日数=6日／観覧者数=1,075人
新しい書を目指す書の研究団体の書作品約30点。

▶第14回 鎮西フォトクラブ福岡写真展
9月28日(火)—10月3日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日／観覧者数=1,135人
郷土福岡の風物を中心に全紙写真パネル仕上げ55点。

▶第16回 福岡フォトフレンドさくら写真展
9月28日(火)—10月3日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日／観覧者数=810人
会員による風景、祭、自然など身近な題材の写真79点。

▶第16回 書道研究温知会福岡支部書作品展
9月28日(火)—10月3日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日／観覧者数=1,038人
会員による額装、軸装などの漢字ならびに仮名の書58点。

▶書道芸術院第10回九州支局展
9月28日(火)—10月3日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日／観覧者数=438人
漢詩、現代詩文書、刻字、仮名60点。

▶八久保卓爾絵画作品展
10月5日(火)－10月11日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝5,397人
50号～100号の油彩26点、水彩素描43点。

▶山を想うひとときパート9
10月5日(火)－10月11日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝2,189人
会員の山岳写真、高山植物など写真全紙48点。

▶第78回 チャーチル会博多絵画展
10月5日(火)－10月11日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数＝7日／観覧者数＝1,745人
会員の洋画、日本画、水彩画48点。

▶第5回 イーゼル会・ラピダ会合同絵画展
10月5日(火)－10月11日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数＝7日／観覧者数＝1,427人
会員による油絵52点。

▶第42回 飛翔会美術展
10月5日(火)－10月11日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝1,792人
会員の小作品から100号までの油彩、水彩、アクリル、パステル画49点。

▶薫風会仏像彫刻展
10月13日(水)－10月17日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝4,084人
会員の仏像立像、レリーフ180点。

▶第10回 アサの会展
10月13日(水)－10月17日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝904人
会員の油彩画42点。

▶第16回 彩舟会展
10月13日(水)－10月17日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝1,066人
会員のSMから100号まで油彩画81点。

▶古希記念草場蒼龍書作展
10月13日(水)－10月17日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝1,113人
屏風、掛軸、額、巻子50点。

▶第8回 白鴎書道会選抜展
10月13日(水)－10月17日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝1,280人
かな書道、臨書、調和体など70点。

▶高井琮玄木彫展
10月19日(火)－10月24日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,618人
木彫仏、木彫作品、仏画65点。

▶瑞の会
10月19日(火)－10月24日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝804人
日本習字浦谷書道教室の軸装、パネル、色紙約80点。

▶悦蘭会墨彩画展
10月19日(火)－10月24日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,021人
会員の墨彩画、はがき絵107点。

▶空の会
10月19日(火)－10月24日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝961人
会員の油絵54点。

▶第3回 福岡ものくろ会写真展
10月19日(火)－10月24日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝989人
会員の全紙額縁作品63点。

▶第2回 二科福岡支部展
10月26日(火)－10月31日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,286人
会員・会員受賞者・一般出品者の絵画、彫刻、デザイン、写真約122点。

▶第34回 福岡市高齢者美術展
10月26日(火)－10月31日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝6日／観覧者数＝1,685人
福岡市居住の60歳以上の一般公募展。洋画、日本画、書、写真、工芸約164点。

▶第12回書道 渓風会福岡会員展
10月26日(火)－10月31日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,066人
かな書道の研究団体、福岡会員による軸、額、屏風、巻子など約60点。

▶小田部泰久展
11月2日(火)－11月7日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,528人
彫刻作品112点。

▶第10回 学校飼育動物スケッチコンクール
11月2日(火)－11月7日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝909人
市内小学校、幼稚園などから応募された受賞作品42点。

▶第20回 城南区市民アート展
11月2日(火)－11月7日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,266人
絵画、グラフィックデザイン、書、写真、工芸、立体造形の6部門138点。

▶第12回 健筆会書作展
11月2日(火)－11月7日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝905人
門下生40名による書道作品。漢字、現代詩、かな46点。

▶第48回 福岡県医師会文化祭美術展
11月9日(火)－11月14日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝4,066人
医師および家族の絵画、写真、書、陶芸80点。

▶Mono works 8 labo展
11月9日(火)－11月14日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝864人
四つ切から半切程のモノクロ写真69点。

▶中央区市民文化祭美術作品展
11月9日(火)－11月14日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,591人
洋画、日本画、写真、書、手工芸71点（一般）・絵画、書道423点（小・中学生）。

▶エコールド・レン展
11月9日(火)－11月14日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,124人
油絵、水彩、人形51点。

▶修猷館がめに会作品展覧会
11月16日(火)－11月21日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝4,185人
昭和30年卒業生46名による写真、絵画、書、その他140点。

▶福岡市人権尊重作品展
11月16日(火)－11月21日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝732人
人権尊重週間で市民から募集したポスター、標語330点。

▶日本画光彩会展
11月16日(火)－11月21日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝925人
会員の日本画49点。

▶第8回 九州由源展
11月16日(火)－11月21日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝908人
九州の会員60名の漢字書道63点。

▶ローマ橋紀行～眼鏡橋のルーツを求めて～
11月16日(火)－11月21日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,627人
榊晃弘「ローマ橋紀行」写真展。スペイン、ポルトガルのローマ橋全紙67点。

▶楠本恵子の世界
11月23日(火)－11月28日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,772人
油絵、アクリル、版画58点。

▶草庵グループ書展
11月23日(火)－11月28日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,246人
文字一字の書に取り組んでいるグループの書19点。

▶第4回 ロータリー・ジュニア美術展
11月23日(火)－11月28日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,140人
福岡地区の中学生対象応募作品。水彩、アクリル、コンテ、パステルなどによる絵画151点。

▶第37回 玄霜会日本画展
11月23日(火)－11月28日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,438人
会員による日本画27点。

▶第27回 福岡市退職小学校長会作品展
11月23日(火)－11月28日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,884人
会員による絵画、書、工芸、写真78点。

▶シオバルプロジェクト
11月30日(火)－12月5日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝799人
会員による絵画、写真、造形、染色約40点。

▶市民総合スポーツ大会
「スポーツ写真コンテスト入賞作品展」
11月30日(火)－12月5日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝718人
運動会、各種スポーツなどの応募作品から各賞入賞者作品35点。

▶日本国際美術家協会西日本支部展
11月30日(火)－12月5日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝547人
会員の油彩画、水墨画、水彩画、木版画、日本画30点。

▶やさしい押し花展
11月30日(火)－12月5日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝674人
岸川ひとみと生徒たちの合同展。押し花花絵額110点。

▶ももちパレス洋画エルサバド
11月30日(火)－12月5日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝803人
福岡勤労青少年センター洋画教室の油絵47点。

▶第56回 毎日書道展九州展
12月7日(火)－12月12日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般500円 高・大生以下無料
日数＝6日／観覧者数＝3,321人
九州・山口地区の受賞作品を中心に全国10会場の巡回作品も含めた総合書展。1,038点。

▶第24回 南区美術展
12月7日(火)－12月12日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝6日／観覧者数＝1,150人
南区に在住、通勤、通学の16歳以上の市民の公募作品および南区美術協会の作品。絵画、彫刻、書、工芸、写真191点。

▶Singing Table つどいのかたち
12月7日(火)－12月12日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝364人
ドローイング、油絵、アクリル画29点。

▶第30回 西日本書美術展
12月14日(火)－12月19日(日)
特別展示室A・B
日数＝6日／観覧者数＝3,138人
西日本書美術協会の代表作家、委嘱作家、推薦作家、選抜作家の作品859点。

▶柳澤義幸写真展
「写真と歴史文化を楽しんで93歳」
12月14日(火)－12月19日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝567人
平和の大切さを訴える写真約40点。

▶平成16年度 福岡大学書道部展
12月14日(火)－12月19日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝517人
楷書、行書、草書、篆刻、隷書、仮名など52点。

▶日韓版画交流展(角間＋李珉)
12月14日(火)－12月19日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝699人
木版画作家約15人と銅版画作家約15人の合同交流展。木版画、銅版画58点(韓国側21点、日本側37点)。

▶劉光相現代水墨画展
12月14日(火)－12月19日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝910人
水墨画20点。

▶第36回 九州かな書道協会展
12月21日(火)－12月26日(日)
特別展示室A
日数＝6日／観覧者数＝1,064人
会員の額、軸、巻子、帖、屏風など約374点。

▶楢橋満帆遺作展
12月21日(火)－12月26日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝475人
油絵、水彩55点。

▶キルトフォーラム展示会2004
12月21日(火)－12月26日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝697人
キルトタペストリーなど25点。

▶遥々会写真展
12月21日(火)－12月26日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝487人
会員の各自がテーマを持って撮りためた写真147点。

▶第42回 オール福岡大学写真展
12月21日(火)－12月26日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝635人
半世紀以上の歴史を誇る福岡大学写真部の写真92点。

▶第2回 水墨彩遊会展
12月21日(火)－12月26日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝598人
于澎先生と会員による掛軸、額装、はがき絵など147点。

平成17年

▶江崎幹秀写真展－「水・輪廻」くまもと緑川－
1月5日(水)－1月10日(月・祝)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,073人
全紙、全倍特殊パネル貼56点。

▶第53回 福岡県小学校児童画展
1月5日(水)－1月10日(月・祝)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝11,821人
県内5地区(福岡、北九州、筑豊、筑後、京筑)からの応募作品のうち、子どもの生活に根ざした地域性の感じられる特選、入選作品2,500点。

▶九輝展
1月12日(水)－1月16日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝948人
公募展「日輝展」の九州地区出品者の作品巡回展。油彩、日本画、押花絵、染織、写真、水墨画45点。

▶福田祝子個展～マイ・バランス～
1月12日(水)－1月16日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝834人
アクリル画、油彩画、立体36点。

▶第3回 志学会展
1月12日(水)－1月16日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝836人
合同グループ作品発表展。油彩、水彩、水彩色鉛筆、色鉛筆作品約100点。

▶第5回 福岡養護学校アート展
1月12日(水)－1月16日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝835人
児童・生徒の絵画、工芸、デザイン、書など300点。

▶青濤展
1月12日(水)－1月16日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝713人
かな作品を中心に漢字、調和体の書道作品約40点。

▶第25回 西日本書美術公募展
1月18日(火)－1月23日(日)
特別展示室A
日数＝6日／観覧者数＝2,204人
九州・山口地区の登竜門。漢字、かな、近代詩文入賞作品668点。

▶片山智水退官記念書展
1月18日(火)－1月23日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,084人
「紙・墨・筆」による線質を重視した表現の軸、額50点。

▶福岡市中学校書作品展
1月18日(火)－1月23日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,160人
福岡市中学校、養護学校の生徒の書作品600点。

▶第12回「サザンクロス写真展」
1月18日(火)－1月23日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,221人
「愛」をテーマにモノクロ、カラー大全紙54点。

▶平成16年度
福岡県高等学校芸術・文化連盟福岡地区写真展
1月18日(火)－1月23日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,120人
大賞、特選、全国大会推薦と地区入選作品。写真パネル109点。

▶photoholic写真展
1月18日(火)－1月23日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,032人
モノクロ、カラー写真四ツ切～全紙84点。

▶第59回 行動展－行動美術協会展九州巡回展－
1月25日(火)－1月30日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝2,970人
平面作品、立体作品185点。

▶全西部行動展
1月25日(火)－1月30日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,441人
平面作品59点。

▶九州蒼遼会書展
1月25日(火)－1月30日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝702人
蒼遼会会員の書36点。

▶第5回 福岡市東区美術協会会員展
1月25日(火)－1月30日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,260人
会員による日本画、洋画、彫刻、書、工芸、写真、デザイン61点。

▶第35回 福岡市医師会文化祭美術展
1月25日(火)－1月30日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,124人
福岡市医師会会員が制作した絵画、写真、書44点。

▶平成16年度
第36回 九州産業大学芸術学部卒業制作展
2月1日(火)－2月6日(日)
特別展示室A・B
日数＝6日／観覧者数＝3,782人
絵画、工芸、デザイン、写真作品など。

▶福岡市シルバー人材センター作品展
2月1日(火)－2月6日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝642人
シルバー人材センター筆耕班会員による書道作品57点。

▶平成16年度
第30回 九州産業大学大学院芸術研究科修了制作展
2月1日(火)－2月6日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,700人
卒業生による、美術、デザイン、写真など作品25点。

▶第48回 西日本読書感想画コンクール優秀作品展
市民ギャラリーD
2月1日(火)－2月6日(日)
日数＝6日／観覧者数＝1,007人
九州・山口各県の小中高生の入賞作品77点。

▶第89回 二科展
2月8日(火)－2月13日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般800円、高・大生500円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝11,681人
平成16年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入選作品の絵画、彫刻、デザイン、写真など622点。

▶第58回 二紀展
2月15日(火)－2月20日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生200円
日数＝6日／観覧者数＝3,133人
二紀東京展より全国に巡回する中の福岡展で、絵画、彫刻約210点。

▶社会福祉法人玄洋会
あるがまま2005－二人の世界展－
2月15日(火)－2月20日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝733人
ボタニカルアートを中心にした細密画など40点。

▶九州産業大学写真部２月展
2月15日(火)－2月20日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝620人
部員によるモノクロ、カラー写真73点。

▶版画工房WA作品展
2月15日(火)－2月20日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝669人
油彩版画60点。

▶福岡雙葉中学・高等学校 美術・書道作品展
2月15日(火)－2月20日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,120人
絵画、書道、デザインなど602点

▶第72回 独立展
2月22日(火)－2月27日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生200円
日数＝6日／観覧者数＝1,507人
平成16年度に開催された東京展の選抜作品と地元関係入選作品の油彩画133点。

▶第54回 福岡市中学校美術展
2月22日(火)－2月27日(日)
日数＝6日／観覧者数＝4,055人
福岡市内の国公立中学校、養護学校、聾学校生徒作品。絵画、デザイン、工芸、彫刻など4,032点。

▶自由美術展
3月1日(火)－3月6日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般700円、高・大生500円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝500人
東京展の選抜作品と地元(福岡・山口・熊本)会員作品139点。

▶第18回 蘭亭書道展
3月1日(火)－3月6日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,183人
高校生以上の書道愛好家による公募展。色紙など2,500点。

▶第11回 福岡市書道協会展
3月1日(火)－3月6日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝1,537人
300名の会員による漢字、かな、篆刻240点。

▶第36回 日展
3月26日(土)－4月10日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般1,100円(800円)、高・大生700円(500円)、小・中生400円(300円)※( )内は割引料金
日数＝14日／観覧者数＝14,288人
平成16年度に開催された東京展の選抜作品と地元関係入選作品。洋画、日本画、彫刻、工芸、書など約450点。

講堂

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成16年			
福岡城跡探訪説明会	4月3日(土)		福岡城四百年記念事業実行委員会	300
福岡市中学校美術科一斉研究会総会	4月14日(水)		福岡市教育委員会	69
第5回二科会写真部福岡支部公募展公開審査	7月11日(日)		二科会写真部福岡支部	300
第22回上野の森大賞展・九州展	7月13日(火)	石橋美術館顧問　田内正宏 審査委員　日野耕之祐	上野の森美術館	80
第26回朝日学生書道展表彰式	7月27日(火)		朝日新聞社西部企画事業部	300
第18回工芸美術知新会展表彰式	8月1日(日)		知新会・読売新聞西部本社・福岡放送	50
第10回学校飼育動物スケッチコンクール表彰式	11月7日(日)		福岡市獣医師会	100
2004年福岡シネマフェスティバル	11月27日(土)		福岡シネマフェスティバル実行委員会	62
	11月28日(日)			43
ＦＣＣ(福岡コピーライターズクラブ)審査会	12月10日(金)		福岡コピーライターズクラブ	70
	12月11日(土)			70
	平成17年			
第53回福岡県小学校児童画展表彰式	1月5日(水)		福岡県小学校図画工作教育研究会	200
西日本書美術公募展表彰式	1月23日(日)		西日本書美術協会	250
福岡市書道協会総会	3月6日(日)		福岡市書道協会	170

(講師敬称略)

教養講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成16年			
男の俳句	4月3日(土)		朝日カルチャーセンター(有志)	16
創元会会議	4月18日(日)		(社)創元会福岡北支部	32
三軌会写真部九州支部総会	4月24日(土)		三軌会写真部九州支部	35
平成16年度福岡市美術連盟通常総会	4月25日(日)		福岡市美術連盟	56
講習会	4月25日(日)		福岡写真研究会	35
美術部顧問者会	5月7日(金)		福岡市中学校美術研究会	45
福岡県高等学校社会科研究会歴史研究会 平成16年度福岡地区総会	5月21日(金)		福岡県高等学校社会科研究会 歴史研究会	20
武蔵野美術大学校友会福岡支部総会	5月23日(日)		武蔵野美術大学校友会福岡支部	15
造形教育九州学会	5月30日(日)		造形教育九州学会	10
第100回記念太平洋展、第39回西日本展準備総会・役員会	6月6日(日)		(社)太平洋美術会西日本支部	71
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	6月9日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	13
二の丸会北部支部第2回定例会	6月11日(金)		二の丸会北部支部	35
福岡市小学校図画工作教育研究会総会	6月12日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	44
定期総会	6月13日(日)		三軌会写真部九州支部	20
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	7月7日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	16
俳句会	7月11日(日)		菜殻火俳句会　野見山ひふみ	28
游展研究会	7月15日(木)		游展	15
創元会作品研究会	8月29日(日)		創元会福岡北支部	23
「冬の華」関係者向け試写	9月11日(土)		高崎哲治	11
第9回福岡市美術連盟展記念講演会	9月18日(土)	福岡アジア美術館長　安永幸一	福岡市美術連盟	95
写真作品研究合評会	10月3日(日)		三軌会写真部九州支部	15
ＪＲ九州マイ・ウェイ・クラブ/ジパング娯楽部 「旅三昧」趣味の会美術散歩	10月19日(火)		ＪＲ九州(株)旅行事業本部	18
福岡市地域文化伝承館検討会議	10月29日(金)		福岡市老人クラブ連合会	22

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
福岡市中学美術教育研究会常任委員会	11月10日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	26
第4回ロータリー・ジュニア美術展表彰式	11月23日(火)		福岡中央ロータリー・クラブ	100
福岡市中学校美術教育研究会会員研修会	12月1日(水)	福岡市中文連会長 出田紘子、福岡市美術館学芸員 鬼本佳代子	福岡市中学校美術教育研究会	21
第16回スポーツ写真コンテスト入賞者表彰式	12月4日(土)		福岡市、福岡市教育委員会、(財)福岡市体育協会	55
第56回毎日書道展九州展(準備)	12月6日(月)		毎日新聞社	40
劉光相現代水墨画展	12月14日(火)		劉光相	60
造形教育九州学会研究発表会	12月18日(土)		造形教育九州学会	13
	平成17年			
福岡市小学校図画工作教育研究会１月定例会	1月15日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	25
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	1月26日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	14
太平洋美術会定時総会	1月30日(日)		太平洋美術協会西日本支部	68
九州産業大学芸術学部卒業研究発表会	2月5日(土)		九州産業大学芸術学部	60
	2月6日(日)			80
創元会作品研究会	2月11日(金)		創元会福岡北支部	58
福岡県高文連写真専門部第2回福岡地区顧問会議	2月23日(水)		福岡県高文連写真専門部福岡支部	21
太平洋美術会研修会	3月5日(土)		太平洋美術会	30
	3月6日(日)			30
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	3月16日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	9

(講師敬称略)

実技講座室

講座名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成16年			
切り絵グループ展、ミニ講座	4月4日(日)		切り絵グループ展責任者 戸田幸一	6
デッサン研究会	4月18日(日)	岡田征彦	ラ・リベルテ113研究会	11
日洋会福岡絵画研究会	4月24日(土)		日洋会　福岡	15
デッサングループ	4月25日(日)		瀬戸葉子	10
デッサン研究会	5月16日(日)		ラ・リベルテ113研究会	8
デッサングループ	5月23日(日)		瀬戸葉子	10
創元会作品研究会	5月30日(日)		創元会福岡北支部	38
デッサン研究会	6月20日(日)		ラ・リベルテ113研究会	11
デッサングループ	6月27日(日)		高橋幸子	10
福岡市小学校図画工作教育研究会7月定例会	7月3日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	29
デッサン研究会	7月18日(日)		ラ・リベルテ113研究会	10
デッサングループ	8月1日(日)		瀬戸葉子	10
日洋会研究会	8月3日(火)		日洋会　福岡	10
	8月4日(水)			37
デッサン研究会	8月22日(日)		ラ・リベルテ113研究会	8
デッサングループ	9月12日(日)		瀬戸葉子	10
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	9月15日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	12
デッサン研究会	9月19日(日)		ラ・リベルテ113研究会	9
創元会作品研究会	10月3日(日)		創元会福岡北支部	34
福岡市小学校図画工作教育研究会10月定例会	10月9日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	33
デッサングループ	10月10日(日)		瀬戸葉子	10
創元会作品研究会	11月7日(日)		創元会	32
デッサン研究会	11月14日(日)		ラ・リベルテ113研究会	9
デッサングループ	11月21日(日)		瀬戸葉子	10
デッサングループ	12月5日(日)		瀬戸葉子	10

講座名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
福岡市小学校図画工作教育研究会12月定例会	12月11日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	25
創元会作品研究会	12月12日(日)		創元会福岡北支部	32
デッサン研究会	12月19日(金)		ラ・リベルテ113研究会	10
	平成17年			
デッサングループ	1月9日(日)		瀬戸葉子	10
デッサン研究会	1月16日(日)		ラ・リベルテ113研究会	8
行動美術会員会議	1月30日(日)		行動美術	20
デッサングループ	2月13日(日)		瀬戸葉子	7
福岡市小学校図画工作教育研究会2月定例会	2月19日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	48
デッサン研究会	2月20日(日)		ラ・リベルテ113研究会	8
創元会作品研究会	3月6日(日)		創元会福岡北支部	38
デッサングループ	3月20日(日)		瀬戸葉子	10

(講師敬称略)

版画印刷工房

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成16年		
版画研究会	4月15日(木)	小関ゆたか	1
北九州版画教室	4月18日(日)	島村恵子	1
北九州版画教室	4月27日(火)	島村恵子	1
版画研究会	4月29日(木)	小関ゆたか	1
北九州版画教室	5月18日(火)	島村恵子	1
版画研究会	6月3日(木)	小関ゆたか	1
北九州版画教室	6月15日(火)	島村恵子	1
銅版画研究会	6月17日(木)	小関ゆたか	1
北九州版画教室	6月29日(火)	島村恵子	1
北九州版画教室	7月18日(日)	島村恵子	1
版画づくり	7月21日(水)	松木美帆	1
版画研究会	7月22日(木)	小関ゆたか	1
北九州版画教室	8月3日(火)	島村恵子	1
北九州版画教室	8月24日(火)	島村恵子	1
北九州版画教室	9月24日(金)	島村恵子	1
版画制作	9月30日(木)	柳原和子	1
版画制作	10月14日(木)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	10月31日(日)	島村恵子	1
版画制作	11月9日(火)	古賀木見子	1
北九州版画教室	11月10日(水)	島村恵子	1
北九州版画教室	11月24日(水)	島村恵子	1
リトグラフの刷り	11月27日(土)	森 信也	1
リトグラフの刷り	11月28日(日)	森 信也	1
版画制作	12月2日(木)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	12月9日(木)	島村恵子	1
	平成17年		
版画制作	1月18日(火)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	2月15日(火)	赤星聡子	2
版画制作	2月17日(木)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	2月23日(水)	島村恵子	1
北九州版画教室	2月27日(日)	赤星聡子	2
北九州版画教室	3月9日(水)	島村恵子	1
北九州版画教室	3月19日(土)	赤星聡子	2
銅版画制作	3月30日(水)	馬庭葉子	1

入場者数一覧

展覧会観覧者数

■特別展等観覧者数

展覧会名	一般			団体			招待	合計
	個人	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
大英博物館の至宝展	226,745	16,291	15,767	16,963	1,234	5,740	18,529	301,269
将軍ー徳川家十五代展	33,034	1,519	―	3,849	44	―	15,599	54,045
ルーヴル美術館展	55,459	3,270	1,923	6,543	506	403	14,321	82,425
第39回福岡市美術展	3,089	133	―	―	―	―	2,222	5,444

■常設展年間観覧者数

個人			団体			老人等	合計
一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
23,392	2,151	9,767	3,687	1,556	―	7,445	47,998

注）老人等とは、福岡市美術館条例に基づき観覧料の免除を受けた、市内居住の65歳以上の者および身障者

■年度別観覧者数

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数（日）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）	開催数（回）	観覧者数（人）
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
累計	7,688	2,090,334	85	3,193,941	4,804	12,839,017	4,889	18,123,292

注）16年度の「特別企画展」には、「第39回福岡市美術展」の開催数及び、観覧者数は含まれておりません。

読書室利用者数

月	月総数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	746	26	28	746	342,890
5	967	26	37	1,713	343,857
6	778	26	29	2,491	344,635
7	758	27	28	3,249	345,393
8	1,180	26	45	4,429	346,573
9	519	26	19	4,948	347,092
10	678	27	25	5,626	347,770
11	636	25	25	6,262	348,406
12	326	23	14	6,588	348,732
1	364	23	15	6,952	349,096
2	494	24	20	7,446	349,590
3	430	26	16	7,876	350,020
年総数	7,876	305	25		

小数点以下切捨

名簿

■美術館協議会委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成16年度のもの)

会長	古川智次	福岡大学教授
副会長	濱砂圭子	育児情報誌編集長
学校教育関係者	青柳昌治	福岡西陵高等学校長
	荒木敏男	松崎中学校長
	溝口 巌	能古小学校長
社会教育関係者	片平幸子	福岡市PTA協議会理事
	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
	辻 芳子	福岡市老人クラブ連合会副会長
	堀池洋子	福岡市社会教育委員
学識経験者	石川正知	財団法人福岡文化財団専務理事
	尾花 剛	社会福祉法人花筏会理事　評議員
	木戸龍一	社団法人福岡県美術協会理事
	京谷啓徳	九州大学助教授
	中西久吉	福岡市美術展運営委員
	錦織亮介	北九州市立大学教授
	松尾孝司	株式会社西日本新聞社専任職編集委員
	龍 秀美	秀巧社印刷(株)外国語チームチーフディレクター

■収集審査委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成16年度のもの)

近現代美術	乾 由明	兵庫県陶芸美術館開設準備委員長
	宝木範義	明星大学教授
	富山秀男	石橋財団ブリヂストン美術館長
	中村英樹	名護屋造形芸術大学教授
	古川智次	福岡大学教授
古美術	小笠原小枝	日本女子大学教授
	河上繁樹	関西学院大学教授
	菊竹淳一	九州産業大学教授
	財津永次	梅光学院大学教授
	西岡康宏	東京国立博物館副館長
	吉田宏志	京都府立大学名誉教授
	吉永陽三	佐賀県立九州陶磁文化館学芸課長

■職員

館長	井上剛紀
副館長(事業管理部長事務代理)	
事業管理部長	伊藤史夫
管理課長	江副 寛
管理係長	牟田博和
管理係	江原加代子
	藤岡雅明
	松本哲哉
	濱田 誠
展覧会等運営調整専任主査	花田健世
学芸課長	尾崎直人
学芸係長	渡邊雄二
主任学芸主事	柴田勝則
	岩永悦子
学芸員	山口洋三
	三谷理華
	山本香瑞子
	鬼本佳代子
	後藤 恒
嘱託員	境 敏光
	ギャレット三宅万里子
	中原千代子
	池田千代美

平成16年度 福岡市美術館活動の記録

編集・発行 福岡市美術館
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL: 092-714-6051
デザイン SOL DESIGN OFFICE
印　　刷 有限会社 シャープ印刷社
発行年月日 2006年3月15日

福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM